

能代市総合計画の

目標指標に関する資料

目 次

1 輝きとぬくもりのまち 分科会

A 班	(1)コミュニティで支え合う特色ある地域づくり	
	1 自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合	・・・ 1
	2 ボランティアセンター登録者数	・・・ 2
	(2)学び合い高め合って地域に活かす生涯学習	
	3 知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合	・・・ 3
	4 自主学習グループ数（公民館登録）	・・・ 4
	5 自主学習グループ会員数（公民館登録）	・・・ 5
	6 生涯学習指導者、ボランティア指導者数	・・・ 6
	(3)地域で育み社会で支える子育て・子ども支援	
	7 子育てを地域で支え合う雰囲気があると思う市民の割合	・・・ 7
	8 ファミリーサポートセンター会員登録数	・・・ 8
	9 ファミリーサポートセンター事業利用件数	・・・ 9
	(4)次代を担う子どもの成長を支える学校教育	
	10 子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合	・・・ 10
	11 耐用年数を超える学校数	・・・ 11
	12 耐震基準を満たす学校数	・・・ 12
B 班	(5)子どもも大人も心と体の健康づくり	
	13 からだが健康だと思う市民の割合	・・・ 13
	14 心が健康だと思う市民の割合	・・・ 14
	15 健康づくりサークル会員数	・・・ 15
	16 がん死亡率（人口10万人対）	・・・ 16
	17 自殺死亡率（人口10万人対）	・・・ 17
	(6)地域で活躍する元気な高齢者	
	18 高齢者人口に対する自立高齢者率	・・・ 18
	19 自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民（高齢者）の割合	・・・ 19
	20 シルバー人材センターの登録会員数	・・・ 20
	21 シルバー人材センターの就業延人員	・・・ 21
	(7)地域で社会で自立する障害者	
	22 障害者計画に基づき入所施設から地域生活へ移行する人数	・・・ 22
	23 事業所における障害者雇用率	・・・ 23
	24 障害を持つ人も社会参加できる環境が整っていると思う市民の割合	・・・ 24
	25 手話サークル登録者数（ボランティアセンター）	・・・ 25
	(2) ボランティアセンター登録者数	・・・ 2
	26 公共施設等のバリアフリー化の6項目クリア率	・・・ 26
C 班	(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術	
	27 地区の祭りや七夕・民俗芸能などへ参加を心がけている市民の割合	・・・ 27
	(4) 自主学習グループ数（公民館登録）	・・・ 4
	(5) 自主学習グループ会員数（公民館登録）	・・・ 5
	28 能代市民俗芸能連合会加盟団体数	・・・ 28
	29 文化財保護協会の会員数	・・・ 29
	30 檜山歴史ガイドの会会員数	・・・ 30
	(9)だれもが気軽に楽しめるスポーツ	
	31 スポーツに親しんでいる市民（週一回以上）の割合	・・・ 31
	32 優良競技者・団体表彰数（栄光賞）	・・・ 32
	33 スポーツ少年団認定指導者数	・・・ 33
	34 バスケットの街を他に誇れると思う市民の割合	・・・ 34
	(10)認め合い支え合う社会づくり	
	35 一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると思う市民の割合	・・・ 35

2 元気とうるおいのまち 分科会		
D 班	(1)環境を核とした活力ある産業創出	
	36 資源リサイクル関連新設・増設企業数	・・・ 36
	37 地域の資源を活用した商品や製品を利用することを心がけている市民の割合	・・・ 37
	38 能代港の外港・内港商船入港船舶数（能代火力発電所専用栈橋を除く）	・・・ 38
	39 能代港の貨物量（能代火力発電所専用栈橋を除く）	・・・ 39
	(2)雇用を産み出す企業立地	
	40 新設・増設企業数（リサイクル関連企業数を含む）	・・・ 40
	41 有効求人倍率	・・・ 41
	42 新規高卒者の就職内定率	・・・ 42
	(3)力強くて持続する農業	
	43 野菜作付面積	・・・ 43
	44 担い手農地集積率（個人・集団を含む）	・・・ 44
	45 地元産の農産物は安全でおいしいと思う市民の割合	・・・ 45
	46 学校給食で使用している野菜類のうち秋田県産の割合	・・・ 46
	(4)山・川を生かす林業・木材産業・水産業	
	47 木材製品出荷額	・・・ 47
	48 木のぬくもりや木のまちとしての雰囲気があると思う市民の割合	・・・ 48
	49 木の学校利用者数	・・・ 49
	50 共同研究等（委託を含む）で実際に商品化できた件数	・・・ 50
	51 松くい虫被害量	・・・ 51
	52 漁獲高（海）	・・・ 52
E 班	(5)まちのにぎわいをつくりだす商業	
	53 地元商店街や近所の商店を利用することを心がけている市民の割合	・・・ 53
	54 商店街の空き店舗率	・・・ 54
	(6)豊かな自然とその恵みを活かす観光	
	55 観光客入込客数	・・・ 55
	56 豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合	・・・ 56
	(7)自然と共生し地域で支える環境保全	
	57 米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は、他に誇れると思う市民の割合	・・・ 57
	58 環境自治体スタンダード（LAS-E）の合格ステージ	・・・ 58
	(8)資源を大切にし社会を持続できる衛生環境	
	59 1人1日あたりごみ排出量	・・・ 59
	60 限りある資源を大切にするため、紙類などを資源ごみに分別することを心がけている市民の割合	・・・ 60

3 安全と安心のまち 分科会		
F 班	(1)安全な暮らしを守る防災・防犯体制	
	61 災害などもしもの場合に普段から備えることを心がけている市民の割合	・・・ 61
	62 防災訓練参加者数	・・・ 62
	63 消防団員の定員の充足率	・・・ 63
	64 がけ地近接等の危険住宅の戸数	・・・ 64
	65 能代警察署管内の交通事故死亡者数	・・・ 65
	66 能代警察署管内の犯罪件数	・・・ 66
	(2)機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	
	67 道路の整備延長（改良率）	・・・ 67
	68 道路の整備延長（舗装率）	・・・ 68
	69 除排雪や清掃活動など、近所や自治会・町内会などで協力しあう体制が整っていると思う市民の割合	・・・ 69
	70 巡回バスの1便平均利用者数	・・・ 70
	(3)効果的で調和のとれた土地利用	
	71中心市街地活性化重点区域の空き店舗率	・・・ 71
	(4)快適で暮らしやすい住環境	
	72 水道普及率	・・・ 72
	73 汚水処理人口普及率	・・・ 73
	74 飲用水の確保や生活排水の処理など、衛生的な生活環境は維持されていると思う市民の割合	・・・ 74
	75 ブロードバンド世帯カバー率	・・・ 75
G 班	(5)安心でき健康を保てる医療体制	
	76 身近なかかりつけ医を持っている市民の割合	・・・ 76
	77 身近なかかりつけ薬局を持っている市民の割合	・・・ 77
	(6)不安のない生活を支える社会保障制度	
	78 要介護2～5に対する介護三施設等利用者の割合	・・・ 78
	79 介護三施設と地域密着型特養の利用者に対する要介護4・5の割合	・・・ 79
	(7)効率的で住民サービスに資する行財政基盤	
	80 市職員は日頃仕事をよくやっていると思う市民の割合	・・・ 80
	81 定員適正化計画に基づく職員数	・・・ 81
	82 市税の収納率（現年度分）個人市民税	・・・ 82
	83 市税の収納率（現年度分）法人市民税	・・・ 82
	84 市税の収納率（現年度分）固定資産税	・・・ 82
	85 市税の収納率（現年度分）軽自動車税	・・・ 82
	86 市の財政状況などについて情報提供が行われていると思う市民の割合	・・・ 83

1 輝きとぬくもりのまち

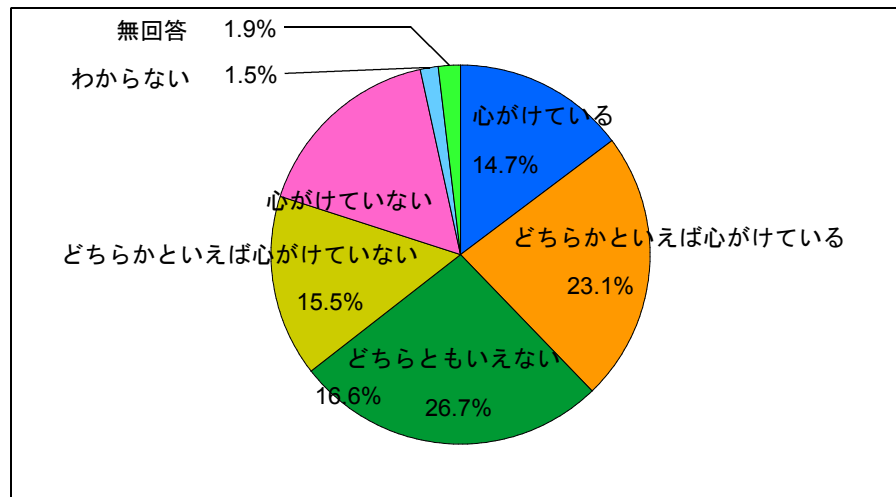
(参考資料)

(1) コミュニティで支え合う特色ある地域づくり

1 自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37.8% (H19年度)	50.0%	60.0%	市民意識調査

自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「心がけている」「どちらかといえば心がけている」の計

目標指標の趣旨：市民活動の活発化の目安として、参加を心がけている人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：50%を目安に12%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに10%の増加を目指す

(担当：市民活力推進課)

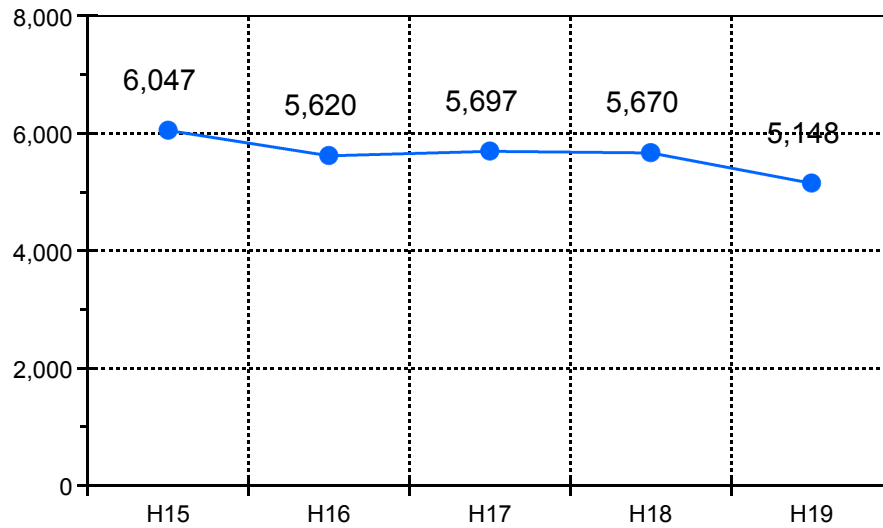
1 輝きとぬくもりのまち

(参考資料)

(1) コミュニティで支え合う特色ある地域づくり、(7) 地域で社会で自立する障害者

2 ボランティアセンター登録者数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前 H15	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	6,047	5,620	5,697	5,670	5,148 (H19年度)	6,000人	6,500人	



説明

出典：ボランティアセンター

基準：各年4月1日現在

目標指標の趣旨： ボランティア活動の活発化の目安として、ボランティア登録者の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：H15年度の水準を目指す

10年後の目標：さらに500人の増加を目指す

(担当：市民活力推進課)

(担当：福祉課)

1 輝きとぬくもりのまち

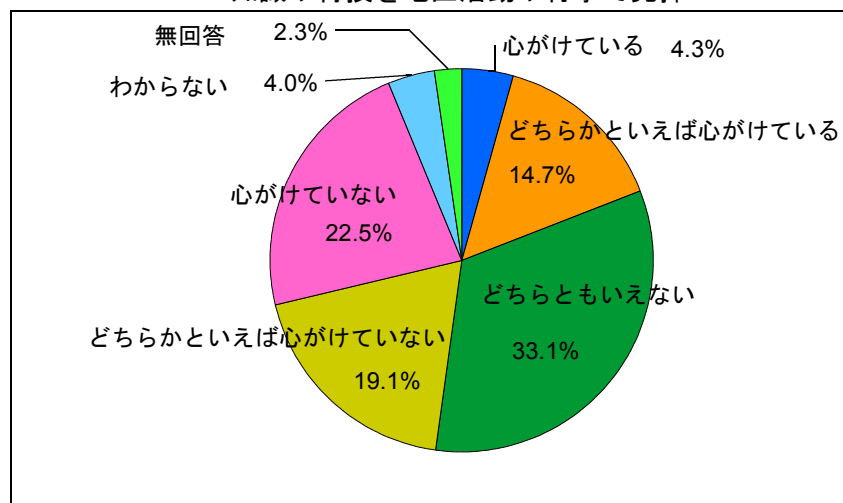
(参考資料)

(2) 学び合い高め合って地域に活かす生涯学習

3 知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19.0% (H19年度)	25.0%	30.0%	市民意識調査

知識や特技を地区活動や行事で発揮



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「心がけている」「どちらかといえば心がけている」の計

目標指標の趣旨：学んだ成果の地域還元を目安として、知識や特技を発揮することを心がけている人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：25%を目安に6%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに5%の増加を目指す

(担当：生涯学習課)

1 輝きとぬくもりのまち

(参考資料)

(2) 学び合い高め合って地域に活かす生涯学習、(8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術

4 自主学習グループ数(公民館登録)

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	257団体 (H19年度)	285団体	310団体	

参考) 旧能代市の推移

	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
グループ数	152	157	155	162	171	166	168	170	170	208

説明

出典：生涯学習課

基準：各年度末現在

＊旧能代市H18の増加要因はサンウッド分

目標指標の趣旨：生涯学習の活発化の目安として、自主学習グループの増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：H19の基準値の10%程度の増加を目指す

10年後の目標：H19の基準値の20%程度の増加を目指す

(担当：生涯学習課)

1 輝きとぬくもりのまち

(参考資料)

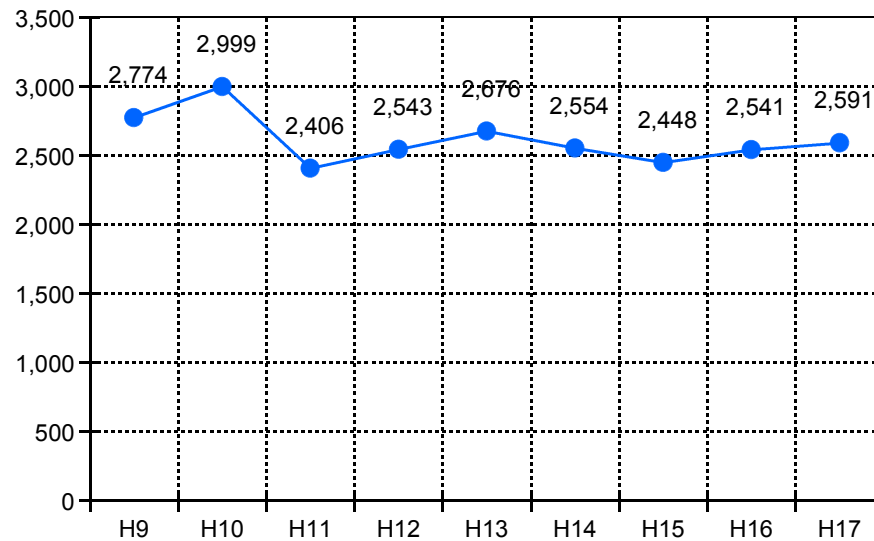
(2) 学び合い高め合って地域に活かす生涯学習、(8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術

5 自主学習グループ会員数(公民館登録)

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4,249人 (H19年度)	4,500人	4,600人	

参考) 旧能代市の推移

	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
会員数	2,774	2,999	2,406	2,543	2,676	2,554	2,448	2,541	2,591	3,285



説明

出典：生涯学習課

基準：各年度末現在

* 旧能代市H18の増加要因はサンウッド分

目標指標の趣旨：生涯学習の活発化の目安として、会員の増加を目指す

目標値の捉え方

過去の推移から1グループあたりの会員数は減少傾向にあるが

5年後の目標：4,500人を目安に250人程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに100人の増加を目指す

(担当：生涯学習課)

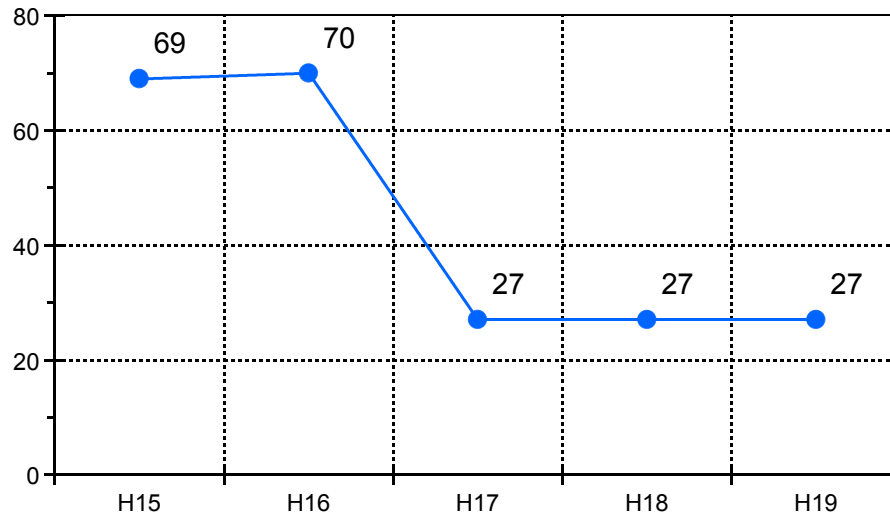
1 輝きとぬくもりのまち

(参考資料)

(2) 学び合い高め合って地域に活かす生涯学習

6 生涯学習指導者、ボランティア登録者数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前 H15	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	69	70	27	27	27 (H19年度)	40組	50組	



説明

出典：生涯学習課

基準：各年4月1日現在

* 数値は生涯学習ボランティア団体数とボランティア個人の合計
仕組みとしては人材バンク
平成15年度より運用を開始し、17年度更新時に減少

目標指標の趣旨： 学んだ成果の地域還元を目安として、登録者の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：40組を目安に10組程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに10組の増加を目指す

(担当：生涯学習課)

1 輝きとぬくもりのまち

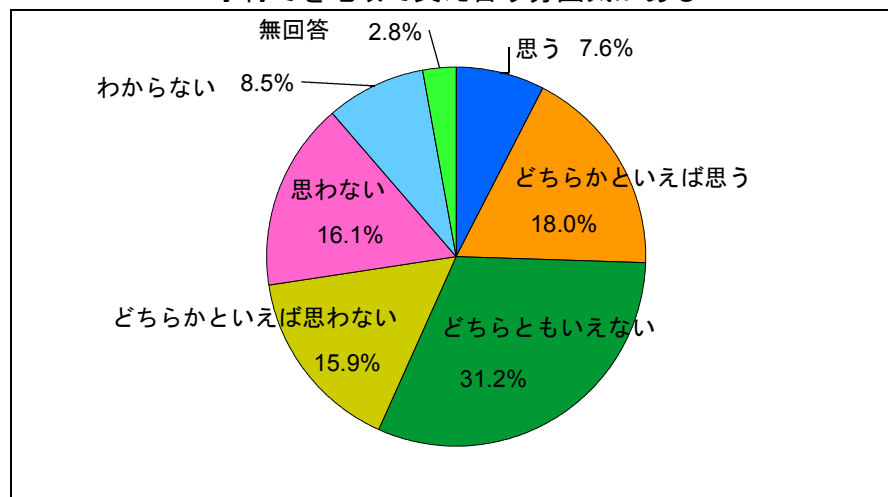
(参考資料)

(3) 地域で育み社会で支える子育て・子ども支援

7 子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25.5% (H19年度)	30.0%	35.0%	市民意識調査

子育てを地域で支え合う雰囲気がある



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計

目標指標の趣旨：子育てを支える体制の目安として、子育てを支え合う雰囲気があると思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：30%を目安に5%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに5%の増加を目指す

(担当：子育て支援課)

1 輝きとぬくもりのまち

(参考資料)

(3) 地域で育み社会で支える子育て・子ども支援

8 ファミリーサポートセンター会員登録数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	12人 (H19年度)	100人	150人	

説明

出典：子育て支援課

基準：各年度末現在

＊平成19年10月1日から事業開始

基準値の内訳）20年2月14日現在

援助を受けたい人（依頼会員）：8人

援助を行いたい人（提供会員）：4人

目標指標の趣旨： 子育てを支える体制の目安として、ファミリーサポートセンターの登録会員の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：依頼会員と提供会員の総数100人を目指す

10年後の目標：さらに毎年10人ずつの増加を目指す

（依頼会員は小学6年生までの保護者）

（担当：子育て支援課）

1 輝きとぬくもりのまち

(参考資料)

(3) 地域で育み社会で支える子育て・子ども支援

9 ファミリーサポート事業利用件数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1件 (H19年度)	50件	75件	

説明

出典：子育て支援課

基準：各年度の合計

＊平成19年10月1日から事業開始

基準値は20年2月14日現在

1日1組＝1件とする

目標指標の趣旨： 子育てを支える体制の目安として、ファミリーサポート事業の利用の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：50組（依頼会員と提供会員の組み合わせ＝50件）を目指す

10年後の目標：75組（依頼会員と提供会員の組み合わせ＝75件）を目指す

（担当：子育て支援課）

1 輝きとぬくもりのまち

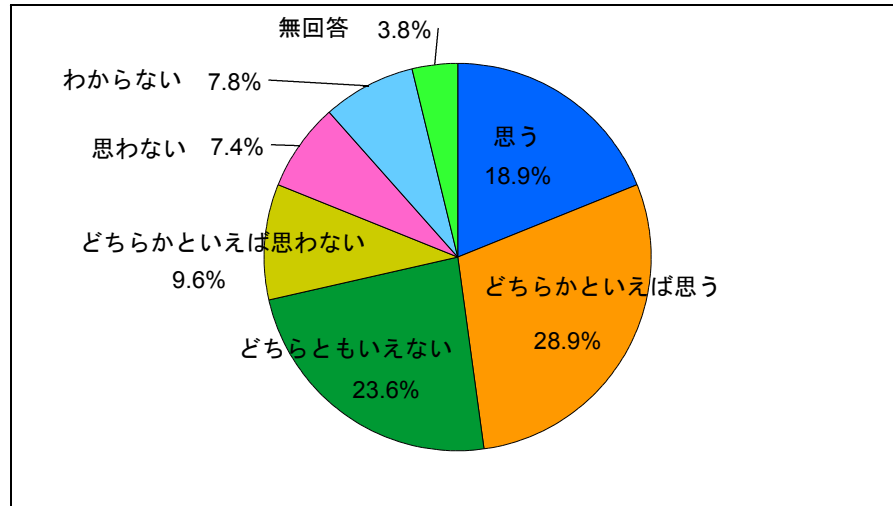
(参考資料)

(4) 次代を担う子どもの成長を支える学校教育

10 子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47.8% (H19年度)	50.0%	55.0%	市民意識調査

子どもが地区でのびのび育っている



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計

目標指標の趣旨：子どもの個性や能力向上の目安として、のびのびと育っていると思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：50%を目安に2%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに5%の増加を目指す

(担当：学校教育課)

(担当：子育て支援課)

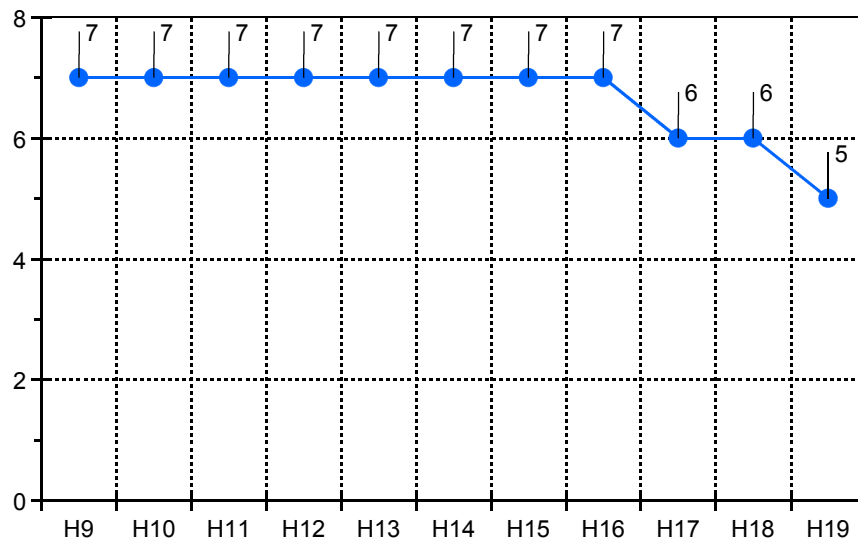
1 輝きとぬくもりのまち

(参考資料)

(4) 次代を担う子どもの成長を支える学校教育

11 耐用年数を超える学校数

10年前 H9	9年前 H10	8年前 H11	7年前 H12	6年前 H13	5年前 H14	4年前 H15	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	5 (H19年度)	0校	0校	



説明

出典：教育総務課

基準：各年4月1日現在

* 基準値5校のうち3校がH20に廃校

残り2校（第四小学校、二ツ井小学校）はH20から着工

目標指標の趣旨： 良好な教育環境の目安として、耐用年数を超える学校をなくすことを目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：耐用年数を超える学校をなくすことを目指す

10年後の目標：耐用年数を超える学校をなくすことを目指す

(担当：教育総務課)

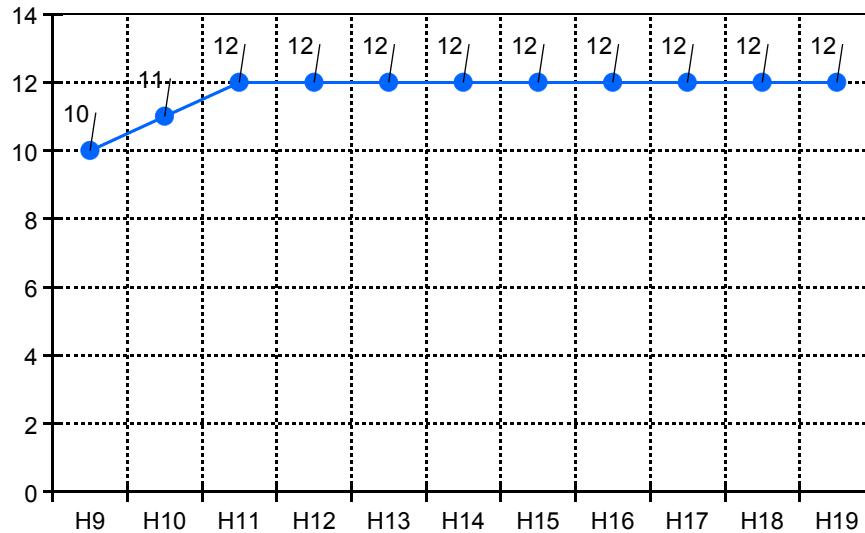
1 輝きとぬくもりのまち

(参考資料)

(4) 次代を担う子どもの成長を支える学校教育

12 耐震基準を満たす学校数

10年前 H9	9年前 H10	8年前 H11	7年前 H12	6年前 H13	5年前 H14	4年前 H15	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
10	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12 (H19年度)	14校	全校	



説明

出典：教育総務課

基準：各年4月1日現在

*H20以降、耐震改修が必要な学校数は4校

目標指標の趣旨：良好な教育環境の目安として、すべての学校が耐震基準を満たすことを目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：4校のうち2校の耐震工事を行うことを目指す

10年後の目標：残り2校の耐震工事を行うことを目指す

(担当：教育総務課)

1 輝きとぬくもりのまち

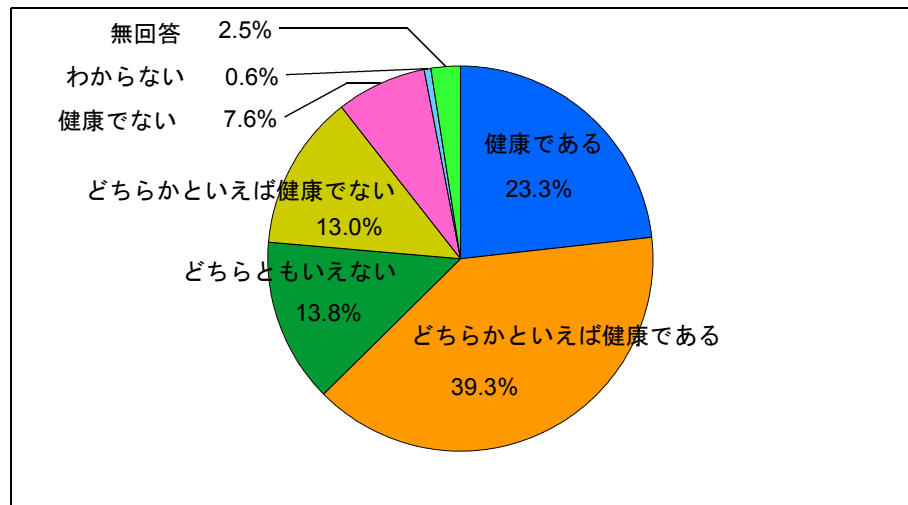
(参考資料)

(5) 子どもも大人も心と体の健康づくり

13 からだが健康だと思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62.5% (H19年度)	70.0%	76.0%	市民意識調査

からだの健康状態



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「健康である」「どちらかといえば健康である」の計

目標指標の趣旨：市民の健康状態の目安として、からだが健康だと思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

「どちらともいえない」の基準値は13.8%

5年後の目標：13.8%の半分程度の増加を目指す

10年後の目標：13.8%程度の増加を目指す

(担当：健康づくり課)

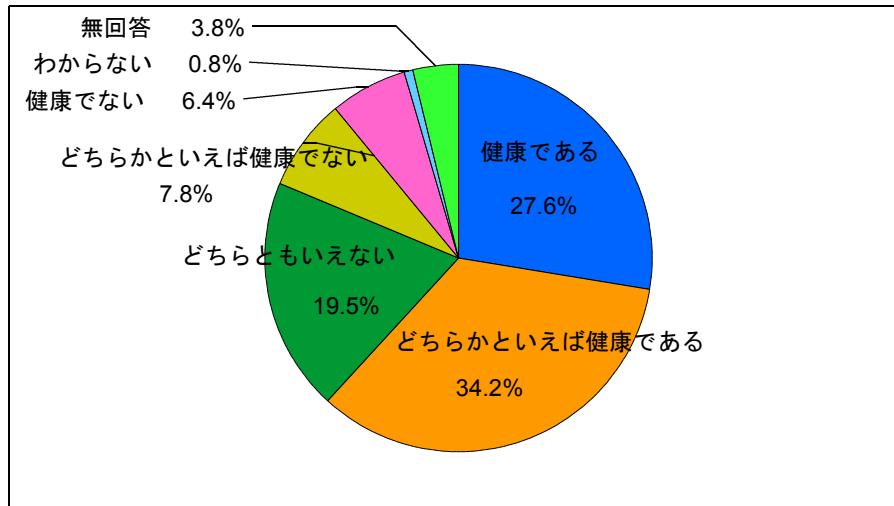
1 輝きとぬくもりのまち
(5) 子どもも大人も心と体の健康づくり

(参考資料)

14 心が健康だと思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	61.8% (H19年度)	65.0%	70.0%	市民意識調査

心の健康状態



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「健康である」「どちらかといえば健康である」の計

目標指標の趣旨：市民の健康状態の目安として、心が健康だと思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

「どちらともいえない」の基準値は19.5%

5年後の目標：19.5%の1/4程度の増加を目指す

10年後の目標：19.5%の半分程度の増加を目指す

(担当：健康づくり課)

1 輝きとぬくもりのまち
 (5) 子どもも大人も心と体の健康づくり

(参考資料)

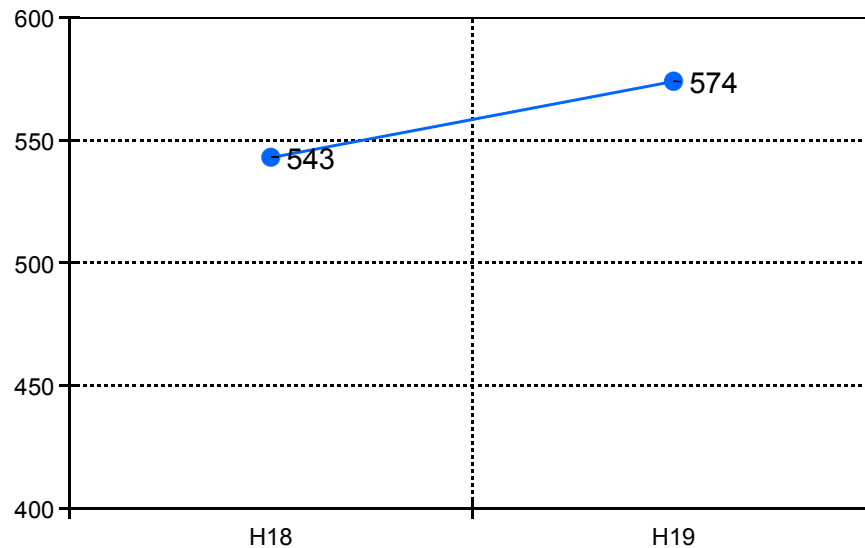
15 健康づくりサークル会員数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値	10年後目標値	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	H18 543	H19 574 (H19年度)	(平成24年度) 5%増	(平成29年度) 10%増	

サークル数 20 21

参考) 旧能代市の推移

	H13	H14	H15	H16	H17
会員数	307	298	301	296	311
サークル数	7	7	7	7	8



説明

出典：健康づくり課
 基準：各年4月1日現在

目標指標の趣旨： 市民の健康づくりの目安として、サークル会員の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：基準値の5%増加を目指す
 10年後の目標：基準値の10%増加を目指す

(担当：健康づくり課)

1 輝きとぬくもりのまち
(5) 子どもも大人も心と体の健康づくり

(参考資料)

16	がん死亡率（人口10万人対）													
	10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	393.3 407.8 (H18年)	10%減	20%減	
	※393.3－策定時の概数（合併直前の二ツ井町の死亡者(H18.1～3)を含まず）													
	407.8－確定値（合併直前の二ツ井町の死亡者(H18.1～3)を含む）													
	参考）旧能代市と旧二ツ井町の推移													
		H8年	H9年	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年			
	能代市	308.5	323	314.9	343.9	311.6	333.8	332.7	311.4	348.1	—			
	二ツ井町	306.9	320.4	365.5	428.9	426	423.5	454	451.7	413.8	—			
	秋田県	280.8	291	286.1	306.4	317.5	307	313.4	330.9	328.5	337.8			
											説明			
											出典：秋田県衛生統計年鑑			
											主体：秋田県			
											基準：1月から12月までの死亡者を10月1日の人口で割った数値			
											公表時期：毎年度末（H18分がH20年3月下旬に公表）			
											目標指標の趣旨：市民の健康状態の目安として、がん死亡者の減少を目指す			
											目標値の捉え方			
											5年後の目標：基準値の10%減少を目指す			
											10年後の目標：基準値の20%減少を目指す			
											(担当：健康づくり課)			

1 輝きとぬくもりのまち
 (5) 子どもも大人も心と体の健康づくり

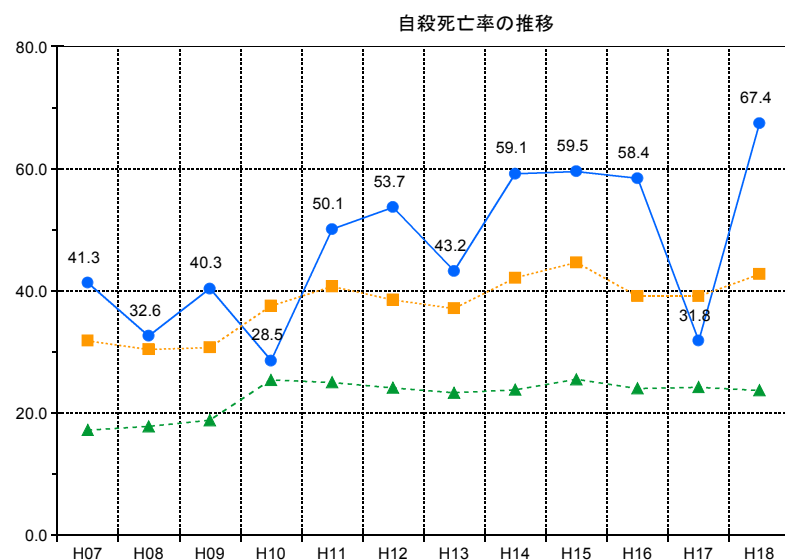
(参考資料)

17 自殺死亡率（人口10万人対）

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.8	67.4 (H18年)	県平均に近づける	県平均を下回る	

参考) 旧能代市と旧二ツ井町の推移

	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
能代市	27.6	50.2	50.5	37.7	51.3	53.5	61.5	—	—
二ツ井町	32.5	49.5	66.8	67.8	94.2	86.9	44.0	—	—
秋田県	37.5	40.7	38.5	37.1	42.1	44.6	39.1	39.1	42.7



説明

出典：秋田県における自殺の現状、秋田県衛生統計年鑑

主体：秋田県

基準：1月から12月までの死亡者を10月1日の人口で割った数値

公表時期：毎年9月（H18分がH19年9月に公表）

目標指標の趣旨：市民の健康状態の目安として、自殺死亡者の減少を目指す

目標値の捉え方

能代市の自殺死亡率は、秋田県平均を上回っている年が多い

5年後の目標：県平均に近づけることを目指す

10年後の目標：県平均を下回ることを目指す

(担当：健康づくり課)

1 輝きとぬくもりのまち
(6) 地域で活躍する元気な高齢者

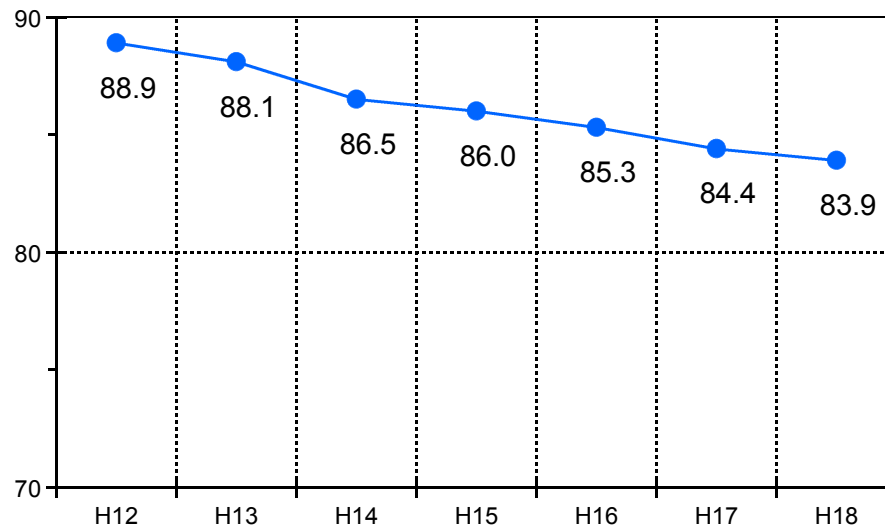
(参考資料)

18 高齢者人口に対する自立高齢者率

10年前	9年前	8年前	7年前 H12	6年前 H13	5年前 H14	4年前 H15	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	88.9	88.1	86.5	86.0	85.3	84.4	83.9	84.0% (H19年度)	82.0%	80.0%	

参考) 上記の内訳 (10.1現在)

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19. 4. 1
高齢者	16,731	17,197	17,678	18,081	18,275	18,476	18,681	18,937
介護認定者	1,852	2,049	2,380	2,525	2,694	2,876	3,011	3,035
自立高齢者	14,879	15,148	15,298	15,556	15,581	15,600	15,670	15,902



説明

出典：長寿いきがい課
基準：各年4月1日現在

目標指標の趣旨： 元気な高齢者の目安として、自立高齢者の増加を目指す
(→75歳以上高齢者の増加で減少傾向にある自立高齢者率の抑制を目指す)

目標値の捉え方

5年後の目標：推計は81.1%だが、介護予防事業等で1%程度の抑制を目指す
10年後の目標：推計は79.1%だが、介護予防事業等で1%程度の抑制を目指す

(担当：長寿いきがい課)

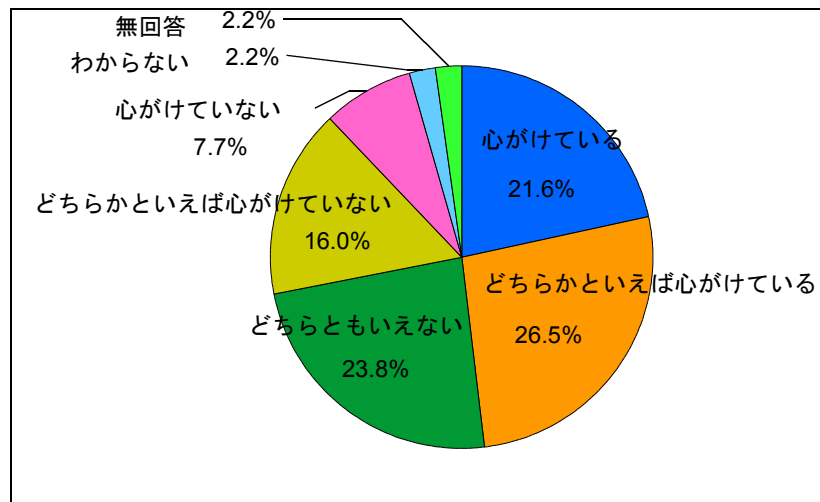
1 輝きとぬくもりのまち
 (6) 地域で活躍する元気な高齢者

(参考資料)

19 自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民（高齢者）の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	48.1% (H19年度)	60.0%	70.0%	市民意識調査

自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

* 数値は市民意識調査の60・70歳代の集計結果（H19対象者は181人）

集計値：「心がけている」「どちらかといえば心がけている」の計

目標指標の趣旨： 地域で活躍する高齢者の目安として、市民活動に参加を心がけている高齢者の増加を目指す

目標値の捉え方

「どちらともいえない」の基準値は23.8%

5年後の目標：23.8%の半分程度の増加を目指す

10年後の目標：23.8%程度の増加を目指す

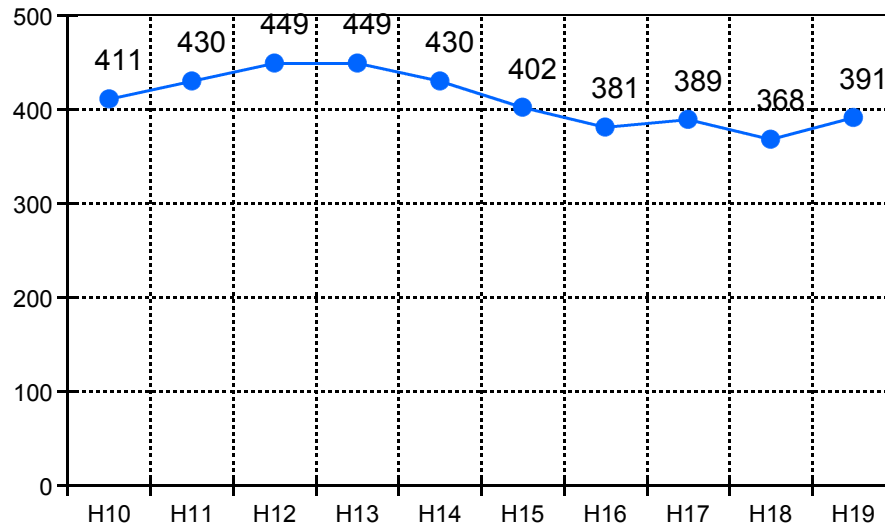
(担当：長寿いきがい課)

1 輝きとぬくもりのまち
(6) 地域で活躍する元気な高齢者

(参考資料)

20 シルバー人材センターの登録会員数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値	10年後目標値	備 考
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	(平成24年度)	(平成29年度)	
—	411	430	449	449	430	402	381	389	368	391人 (H19年度)	5%増	10%増	



説明

出典：シルバー人材センター
基準：各年4月1日現在

目標指標の趣旨：元気に活躍する高齢者の目安として、登録会員の増加を目指す

目標指標の捉え方

5年後の目標：基準値の5%増加を目指す
10年後の目標：基準値の10%増加を目指す

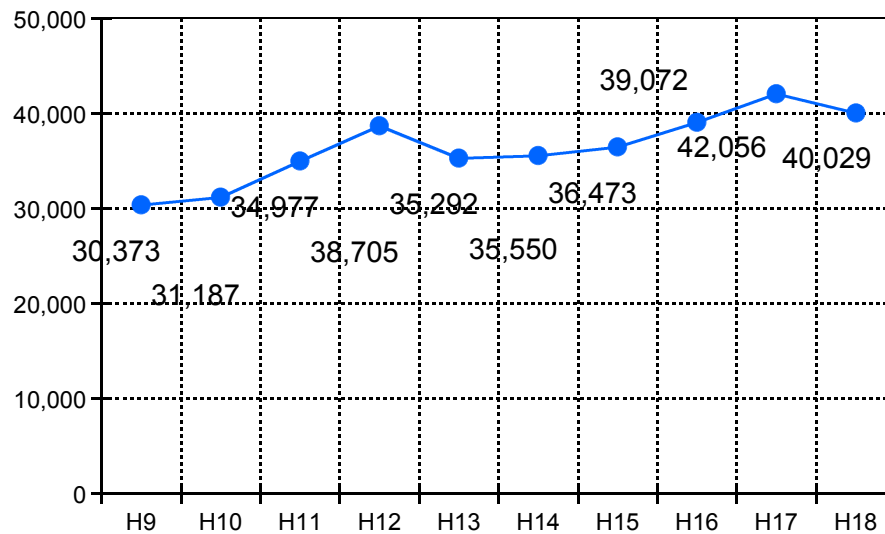
(担当：商工港湾課)

1 輝きとぬくもりのまち
 (6) 地域で活躍する元気な高齢者

(参考資料)

21 シルバー人材センターの就業延人員

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値	10年後目標値	備 考
	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	(平成24年度)	(平成29年度)	
—	30,373	31,187	34,977	38,705	35,292	35,550	36,473	39,072	42,056	40,029 (H18年度)	5%増	10%増	



説明

出典：シルバー人材センター
 基準：各年度の合計

目標指標の趣旨：元気に活躍する高齢者の目安として、就業延人員の増加を目指す

目標指標の捉え方

5年後の目標：基準値の5%増加を目指す
 10年後の目標：基準値の10%増加を目指す

(担当：商工港湾課)

1 輝きとぬくもりのまち
(7) 地域で社会で自立する障害者

(参考資料)

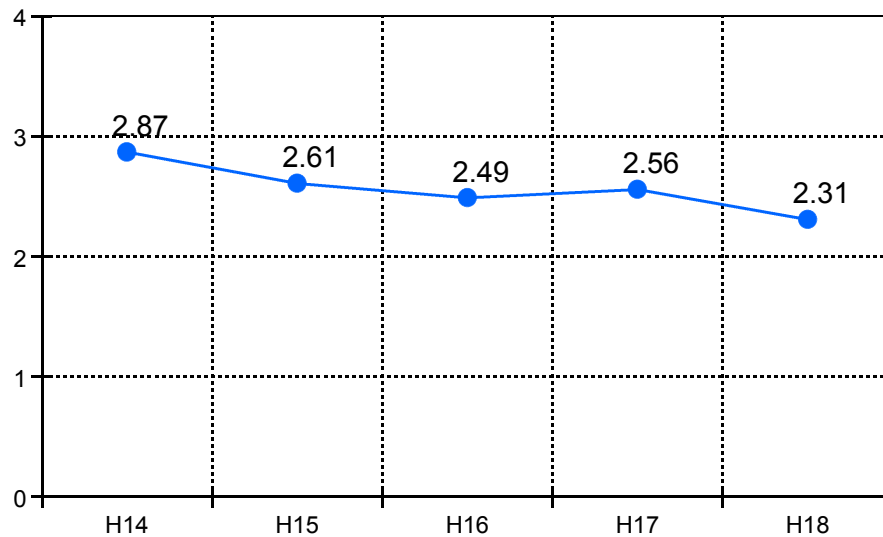
22	障害者計画に基づき入所施設から地域生活へ移行する人数													
	10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0人 (H18年度)	13人	13人以上	
											説明 出典：福祉課 基準：5年間の累計 ＊平成18年度から調査開始 障害者計画の目標は、平成19～23年度までの5年間に延べ13人 目標指標の趣旨： 障害者が地域生活できる目安として、入所施設から移行する人の増加を目指す 目標値の捉え方 5年後の目標：入所施設から地域生活へ、5年間で13人の移行を目指す 10年後の目標：入所施設から地域生活へ、5年間で13人以上の移行を目指す (担当：福祉課)			

1 輝きとぬくもりのまち
 (7) 地域で社会で自立する障害者

(参考資料)

23 事業所における障害者雇用率

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	2.87	2.61	2.49	2.56	2.31% (H18年度)	2.60%	2.70%	



説明

出典：ハローワーク能代

基準：各年6月1日現在

*数値はハローワーク能代管内のもの

目標指標の趣旨：障害者自立の目安として、事業所の雇用の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：0.3%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに0.1%の増加を目指す

(担当：福祉課)

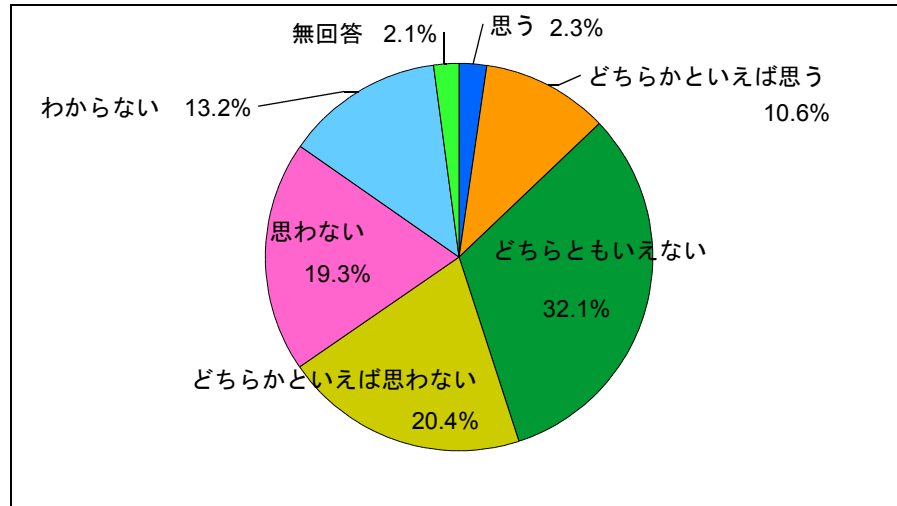
1 輝きとぬくもりのまち
(7) 地域で社会で自立する障害者

(参考資料)

24 障害を持つ人も社会参加できる環境が整っていると思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12.9% (H19年度)	20.0%	28.0%	市民意識調査

障害を持つ人も社会参加できる環境が整っている



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計

目標指標の趣旨：障害者を支える体制の目安として、環境が整っていると思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

「どちらともいえない」の基準値は32.1%

5年後の目標：32.1%の1/4程度の増加を目指す

10年後の目標：32.1%の半分程度の増加を目指す

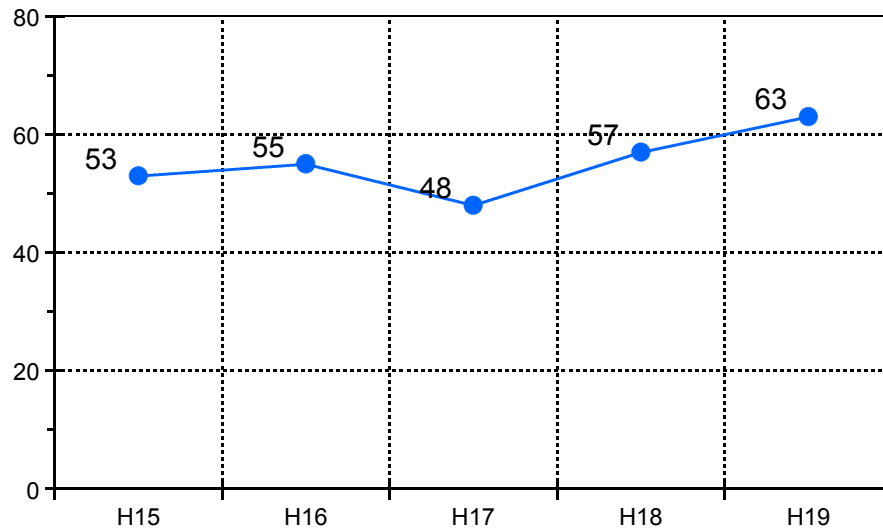
(担当：福祉課)

1 輝きとぬくもりのまち
(7) 地域で社会で自立する障害者

(参考資料)

25 手話サークル登録者数 (ボランティアセンター)

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前 H15	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	53	55	48	57	63人 (H19年度)	70人	80人	



説明

出典：ボランティアセンター
基準：各年4月1日現在

目標指標の趣旨： 障害者を支える体制の目安として、手話サークルの登録者の増加を目指す

目標指標の捉え方

5年後の目標：70人を目安に、7人の増加を目指す
10年後の目標：さらに10人の増加を目指す

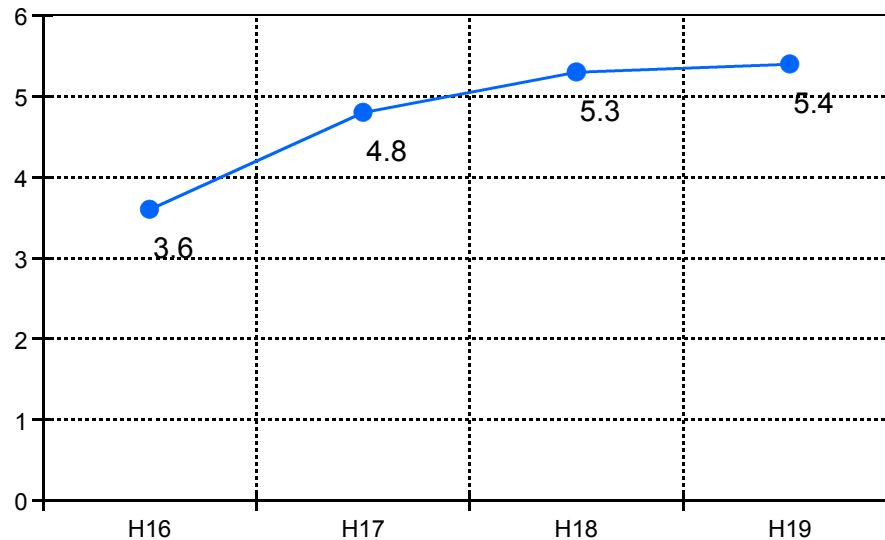
(担当：福祉課)

1 輝きとぬくもりのまち
(7) 地域で社会で自立する障害者

(参考資料)

26 公共施設等のバリアフリー化の6項目クリア率

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	3.6	4.8	5.3	5.4% (H19年度)	8.0%	11.0%	



説明

出典：公共施設等のバリアフリー化の状況に関する調査
主体：秋田県
基準：各年4月1日現在
公表時期：7月下旬以降

*平成16年度から調査開始
H19年度秋田県平均13.1%

参考) 公共施設のバリアフリー6項目は

- ①車いす用駐車場 ②スロープ (出入口段差解消)
③手すり付き洋式便器 ④手すり付き小便器
⑤車いす用トイレ ⑥階段の手すり

上記の6項目すべてが整備されている公共施設の割合

目標指標の趣旨： 障害者を支える体制の目安として、公共施設等のバリアフリー化を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：3%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに3%の増加を目指す

(担当：福祉課)

1 輝きとぬくもりのまち

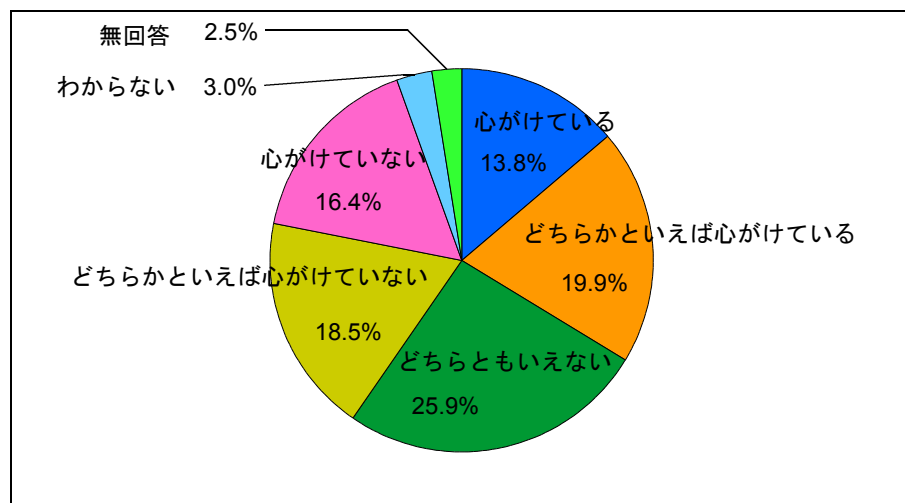
(参考資料)

(8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術

27 地区の祭りや七夕・民俗芸能などへ参加を心がけている市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.7% (H19年度)	42.0%	50.0%	市民意識調査

地区の祭りや七夕・民俗芸能などへ参加



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「心がけている」「どちらかといえば心がけている」の計

目標指標の趣旨：地区の伝統継承の目安として、祭りなどに参加を心がけている人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：基準値と10年後の目標値の中間点を目指す

10年後の目標：50%を目指す

(担当：生涯学習課)

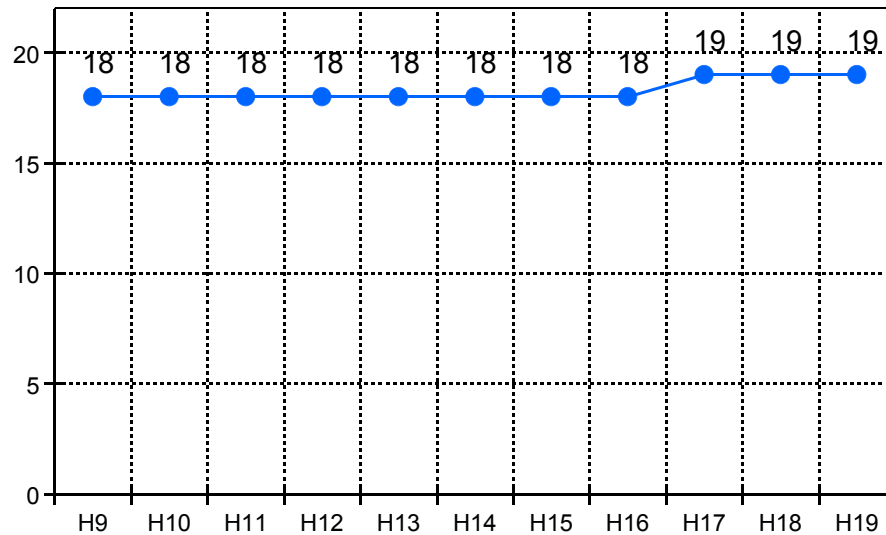
1 輝きとぬくもりのまち

(8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術

(参考資料)

28 能代市民俗芸能連合会加盟団体数

10年前 H9	9年前 H10	8年前 H11	7年前 H12	6年前 H13	5年前 H14	4年前 H15	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
18	18	18	18	18	18	18	18	19	19	19 (H19年度)	20団体	維持	



説明

出典：生涯学習課

基準：各年4月1日現在

目標指標の趣旨： 地区の伝統継承の目安として、民俗芸能連合会の加盟団体の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：1団体の増加を目指す

10年後の目標：20団体の水準を維持する

(担当：生涯学習課)

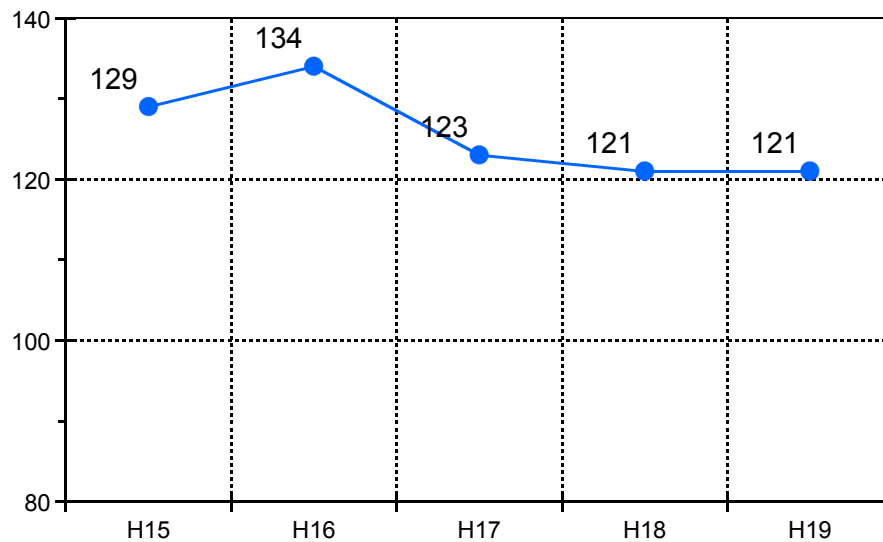
1 輝きとぬくもりのまち

(参考資料)

(8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術

29 文化財保護協会の会員数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前 H15	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	129	134	123	121	121 (H19年度)	150人	維持	



説明

出典：生涯学習課

基準：各年4月1日現在

目標指標の趣旨：歴史と文化の振興の目安として、文化財保護協会の会員の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：30人程度の増加を目指す

10年後の目標：150人の水準を維持する

(担当：生涯学習課)

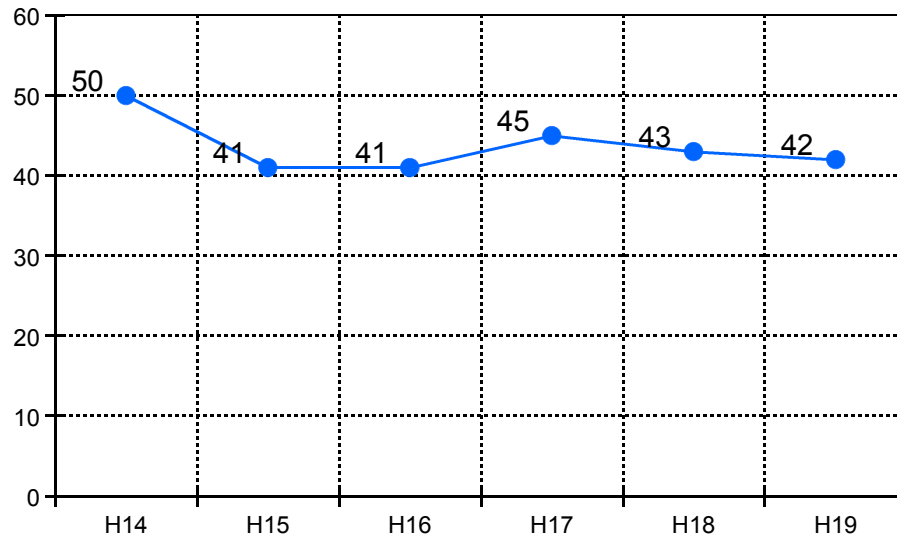
1 輝きとぬくもりのまち

(参考資料)

(8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術

30 檜山歴史ガイドの会会員数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前 H14	4年前 H15	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	50	41	41	45	43	42 (H19年度)	50人	維持	



説明

出典：生涯学習課

基準：各年4月1日現在

目標指標の趣旨：歴史と文化の振興の目安として、檜山歴史ガイドの会の会員の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：50人を目安に、8人の増加を目指す

10年後の目標：50人の水準を維持する

(担当：生涯学習課)

1 輝きとぬくもりのまち

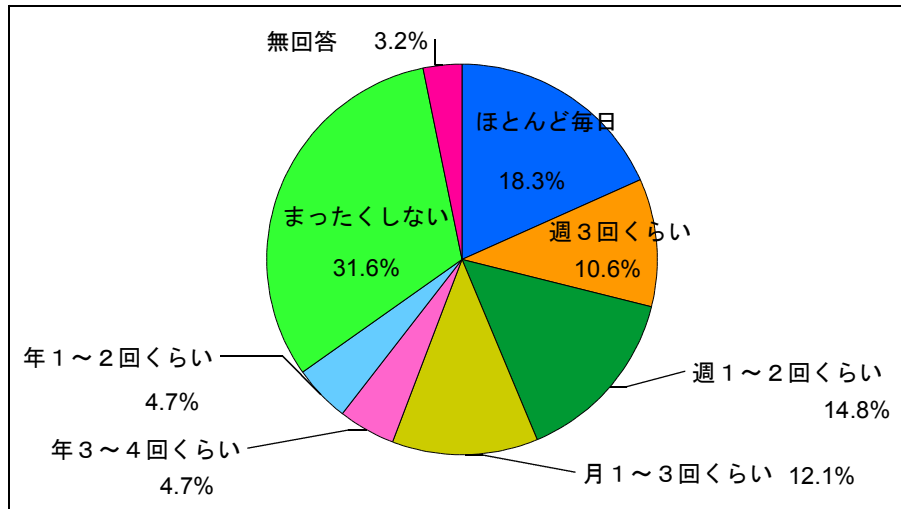
(参考資料)

(9) だれもが気軽に楽しめるスポーツ

31 スポーツに親しんでいる市民（週一回以上）の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43.7% (H19年度)	50.0%	60.0%	市民意識調査

運動・スポーツ行う頻度



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「ほとんど毎日」「週3回」「週1～2回」の計

目標指標の趣旨：スポーツ振興の目安として、スポーツに親しんでいる人の増加を目指す

目標値の捉え方

「月1～3回くらい」の基準値は12.1%

5年後の目標：月1～3回（12.1%）の半分程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに10%の増加を目指す

(担当：スポーツ振興課)

1 輝きとぬくもりのまち
(9) だれもが気軽に楽しめるスポーツ

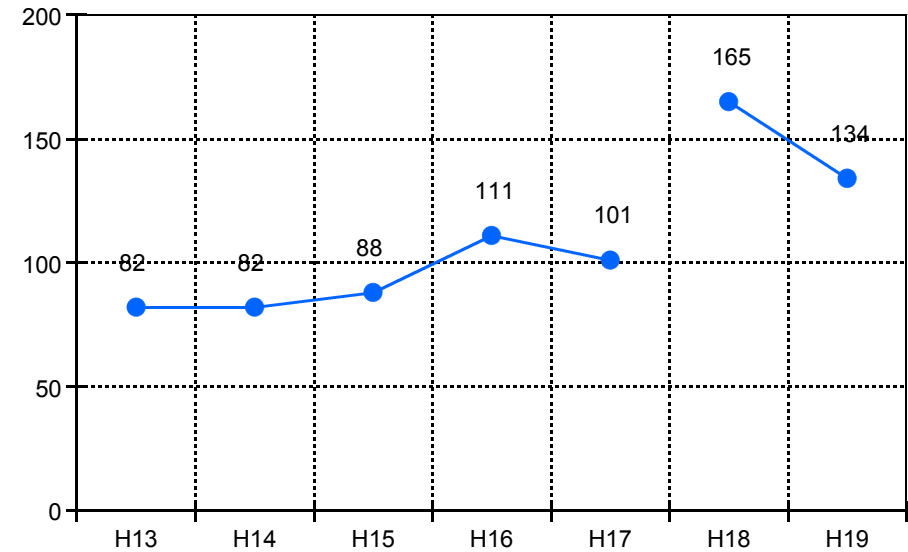
(参考資料)

32 優良競技者・団体表彰数（栄光賞）

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	165	134 (H19年度)	170人	190人	

参考) 旧能代市の推移

	H13	H14	H15	H16	H17
栄光賞	82	82	88	111	101



説明

出典：スポーツ振興課

基準：年度内にスポーツで活躍した児童生徒を対象

表彰時期：2月下旬

*栄光賞は、全国・東北・全県大会などで好成績を収めた小・中・高校の個人や団体のメンバーに贈られる

目標指標の趣旨： スポーツ振興の目安として、栄光賞授与者の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：合併後2カ年の平均約150人を基準とし、5年後に20人の増加を目指す

10年後の目標：さらに20人の増加を目指す

(担当：スポーツ振興課)

1 輝きとぬくもりのまち
(9) だれもが気軽に楽しめるスポーツ

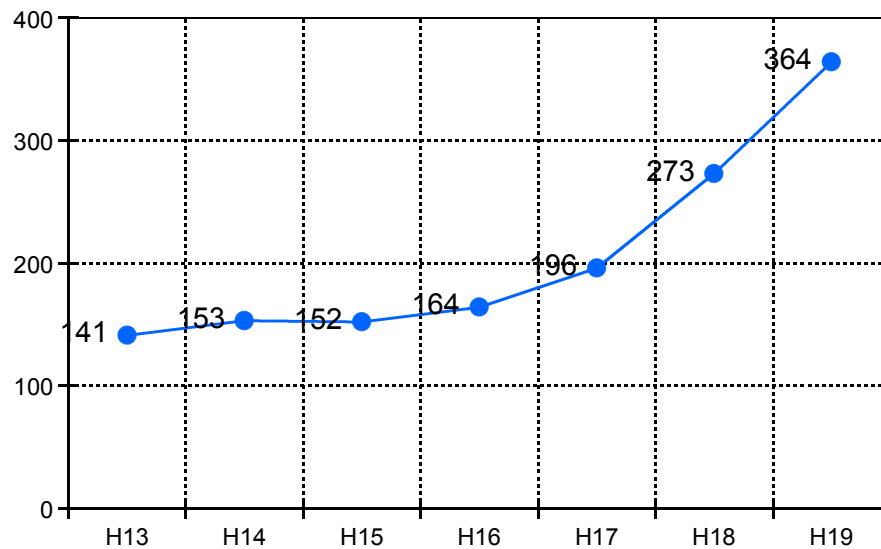
(参考資料)

33 スポーツ少年団認定指導者数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前 H13	5年前 H14	4年前 H15	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	273	364 (H19年度)	450人	維持	

参考) 旧能代市の推移

	H13	H14	H15	H16	H17
指導者数	141	153	152	164	196



説明

出典：スポーツ振興課

基準：各年7月末現在

目標指標の趣旨： スポーツ振興の目安として、スポーツ少年団の認定指導者の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：450人を目安に90人程度の増加を目指す

10年後の目標：450人の水準を維持する

(担当：スポーツ振興課)

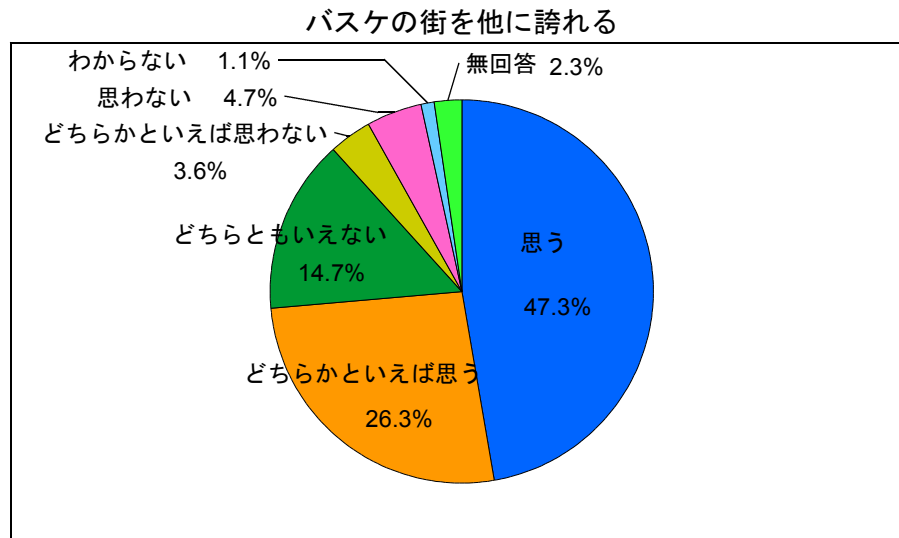
1 輝きとぬくもりのまち

(参考資料)

(9) だれもが気軽に楽しめるスポーツ

34 バスケットの街を他に誇れると思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	73.6% (H19年度)	75.0%	77.5%	市民意識調査



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計

目標指標の趣旨：バスケットの街づくりの目安として、誇りに思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

H19は国体開催により既に全体的に意識が高まっているため、この機運を維持しながら増加を目指す

(担当：スポーツ振興課)

(担当：市民活力推進課)

1 輝きとぬくもりのまち

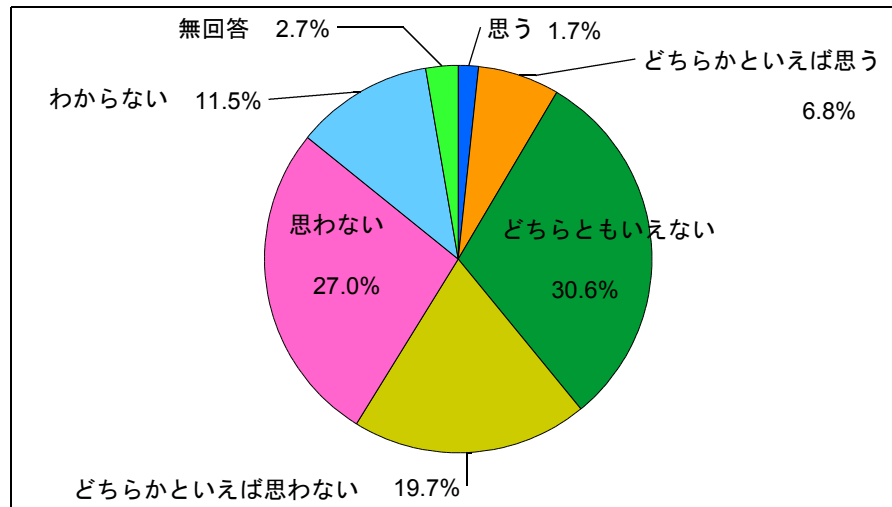
(参考資料)

(10) 認め合い支え合う社会づくり

35 一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.5% (H19年度)	20.0%	30.0%	市民意識調査

一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっている



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計

目標指標の趣旨：認め合う社会の目安として、個性や能力を発揮できる地域になっていると思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：20%を目安に10%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに10%の増加を目指す

(担当：市民活力推進課)

2 元気とうるおいのまち

(参考資料)

(1) 環境を核とした活力ある産業創出

36 資源リサイクル関連新設・増設企業数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (H18年度)	5年間で5件	10年間で10件	

説明

出典：商工港湾課

基準：5年間（10年間）の累計

＊過去の企業数に関する統計資料等はなし

目標指標の趣旨：地域特性を活かした産業創出の目安として、資源リサイクル関連の新設・増設企業の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：年間1件程度の新設・増設を目指す

10年後の目標：年間1件程度の新設・増設を目指す

（担当：商工港湾課）

2 元気とうるおいのまち

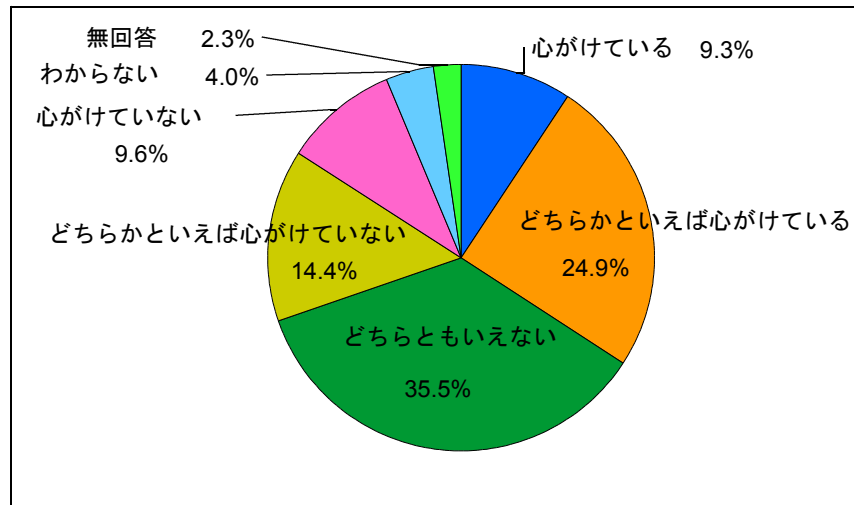
(参考資料)

(1) 環境を核とした活力ある産業創出

37 地域の資源を活用した商品や製品を利用することを心がけている市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34.2% (H19年度)	45.0%	55.0%	市民意識調査

地域資源を活用した商品・製品を利用



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「心がけている」「どちらかといえば心がけている」の計

目標指標の趣旨：地域資源を活かした産業創出の目安として、商品や製品を利用することを心がけている人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：45%を目安に10%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに10%の増加を目指す

(担当：商工港湾課)

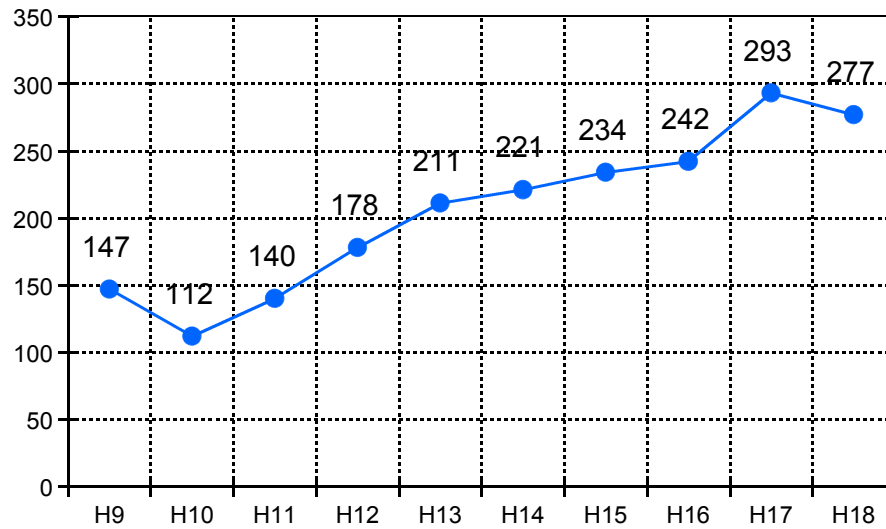
2 元気とうるおいのまち

(参考資料)

(1) 環境を核とした活力ある産業創出

38 能代港の外港・内港商船入港船舶数（能代火力発電所専用棧橋を除く）

10年前	9年前 H9	8年前 H10	7年前 H11	6年前 H12	5年前 H13	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	147	112	140	178	211	221	234	242	293	277 (H18年)	330隻	350隻	



説明

出典：商工港湾課

基準：年間の合計

目標指標の趣旨： 能代港利活用の目安として、入港船舶の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：5%程度の増加＋汚染土壌の荷揚げ（40隻）の増加を目指す

10年後の目標：10%程度の増加＋汚染土壌の荷揚げ（40隻）の増加を目指す

（担当：商工港湾課）

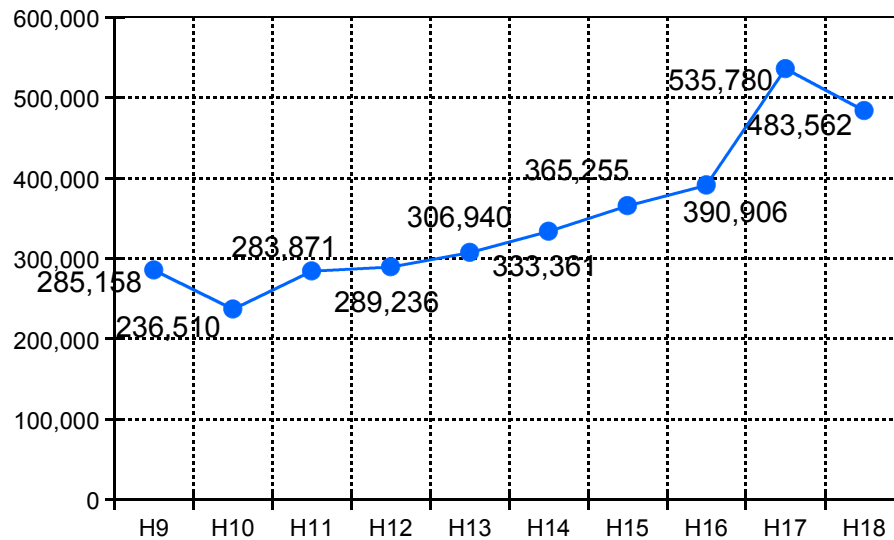
2 元気とうるおいのまち

(参考資料)

(1) 環境を核とした活力ある産業創出

39 能代港の貨物量（能代火力発電所専用棧橋を除く）

10年前	9年前 H9	8年前 H10	7年前 H11	6年前 H12	5年前 H13	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	285,158	236,510	283,871	289,236	306,940	333,361	365,255	390,906	535,780	483,562 (H18年)	547,000 t	571,000 t	



説明

出典：商工港湾課

基準：年間の合計

目標指標の趣旨： 能代港利活用の目安として、貨物量の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：5%程度の増加＋汚染土壌の荷揚げ（4万t）の増加を目指す

10年後の目標：10%程度の増加＋汚染土壌の荷揚げ（4万t）の増加を目指す

（担当：商工港湾課）

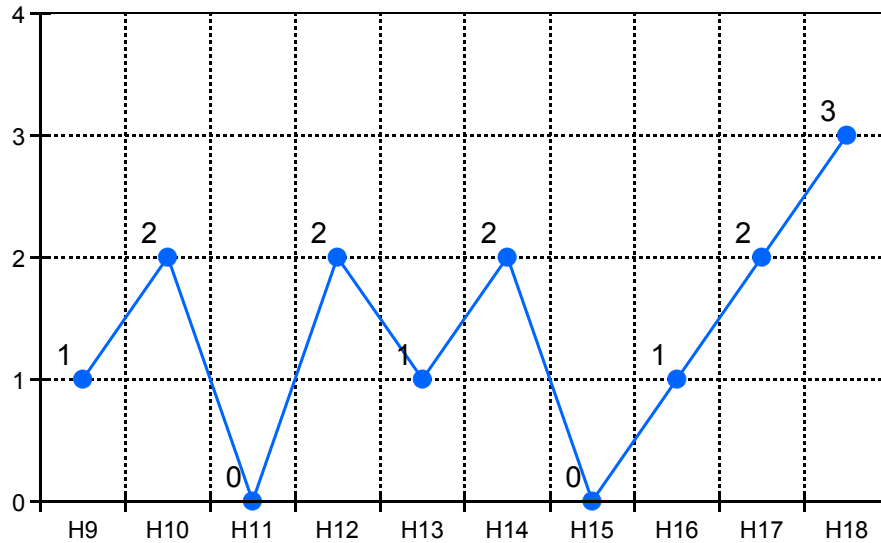
2 元気とうるおいのまち

(2) 雇用を産み出す企業立地

(参考資料)

40 新設・増設企業数（リサイクル関連企業数を含む）

10年前	9年前 H9	8年前 H10	7年前 H11	6年前 H12	5年前 H13	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	1	2	0	2	1	2	0	1	2	3 (H18年度)	5年間で10件	10年間で15件	



説明

出典：商工港湾課

基準：5年間（10年間）の累計

*過去の数値は、当時の条例による奨励措置の認定企業の件数

目標指標の趣旨：雇用創出の目安として、新設・増設企業の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：年間2件程度の新設・増設を目指す

10年後の目標：さらに年間1件程度の新設・増設を目指す

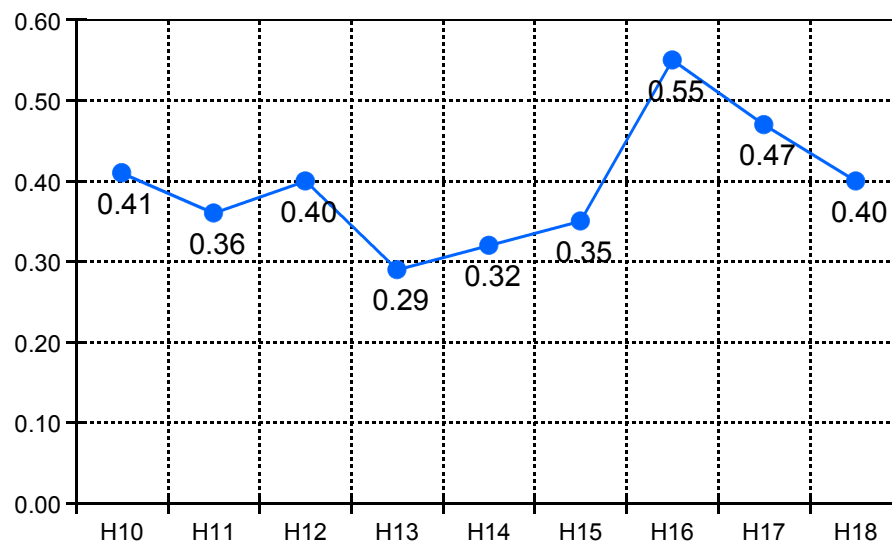
(担当：商工港湾課)

2 元気とうるおいのまち
 (2) 雇用を産み出す企業立地

(参考資料)

41 有効求人倍率

10年前	9年前	8年前 H10	7年前 H11	6年前 H12	5年前 H13	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	0.41	0.36	0.40	0.29	0.32	0.35	0.55	0.47	0.40 (H18年度)	県平均に近づける	県平均を上回る	



説明

出典：ハローワーク能代

基準：数値は年間有効求人数を年間有効求職者数で割ったもの

*H18年度の県平均は0.62倍、全国平均は1.06倍

目標指標の趣旨：雇用確保の目安として、有効求人倍率の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：県平均に近づけることを目指す

10年後の目標：県平均を上回ることを目指す

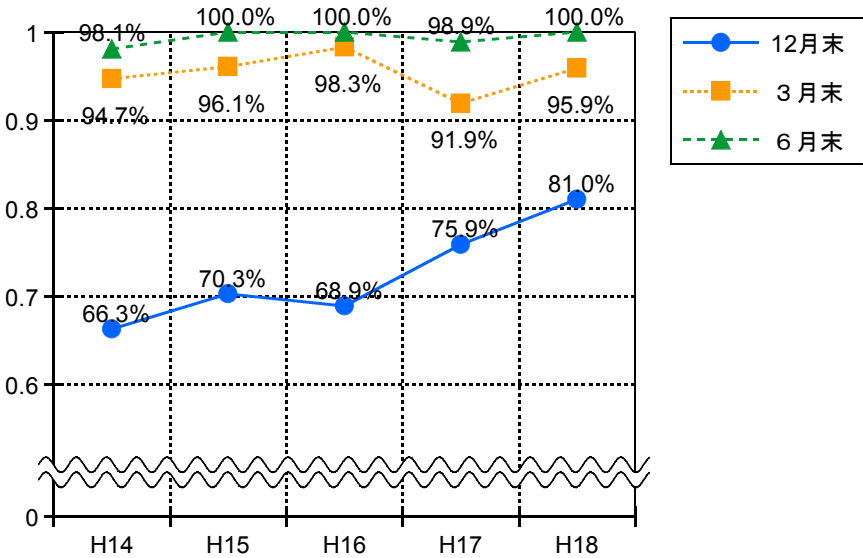
(担当：商工港湾課)

2 元気とうるおいのまち
(2) 雇用を産み出す企業立地

(参考資料)

42 新規高卒者の就職内定率

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	94.7%	96.1%	98.3%	91.9%	95.9% (H18年度末)	99.0%	維持	



説明

出典：ハローワーク能代

基準：就職を希望した新規高卒者に占める就職決定者（3月末まで）の割合

* 数値は能代山本への就職割合含む

目標指標の趣旨：雇用確保の目安として、就職内定率の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：99.0%の水準を目指す

10年後の目標：99.0%の水準を維持する

	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
6月末	98.1%	100.0%	100.0%	98.9%	100.0%
3月末	94.7%	96.1%	98.3%	91.9%	95.9%
12月末	66.3%	70.3%	68.9%	75.9%	81.0%

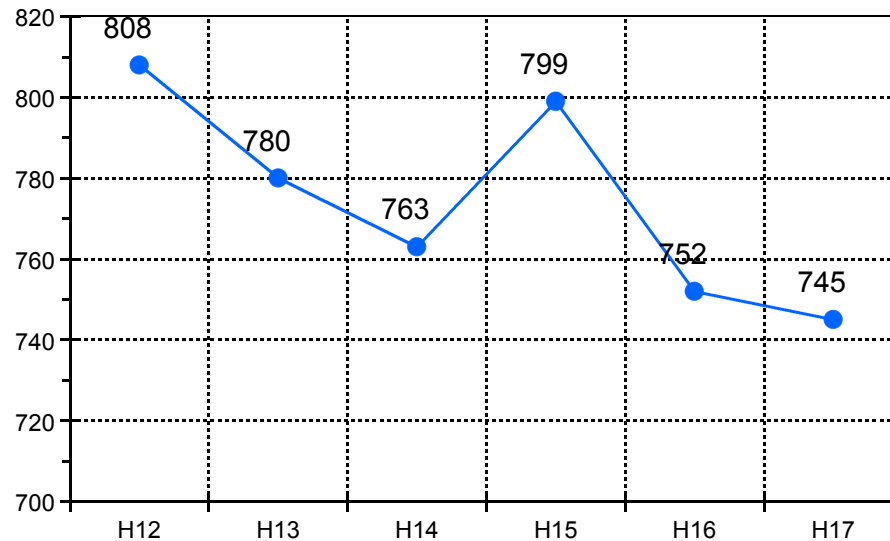
(担当：商工港湾課)

2 元気とうるおいのまち
 (3) 力強く持続する農業

(参考資料)

43 野菜作付面積

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前 H12	4年前 H13	3年前 H14	2年前 H15	1年前 H16	基準値 H17	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	808	780	763	799	752	745 (H17年度)	740ha	維持	



説明

出典：秋田農林水産統計年報

主体：東北農政局秋田農政事務所

基準：各年度

公表時期：1年後の年度末

目標指標の趣旨：農業振興の目安として、野菜作付面積の増加を目指す
 (→減少傾向にある作付面積の抑制を目指す)

目標値の捉え方

5年後の目標：野菜作付面積の減少を5haにとどめる

10年後の目標：740haの水準を維持する

(担当：農林水産課)

2 元気とうるおいのまち
(3) 力強く持続する農業

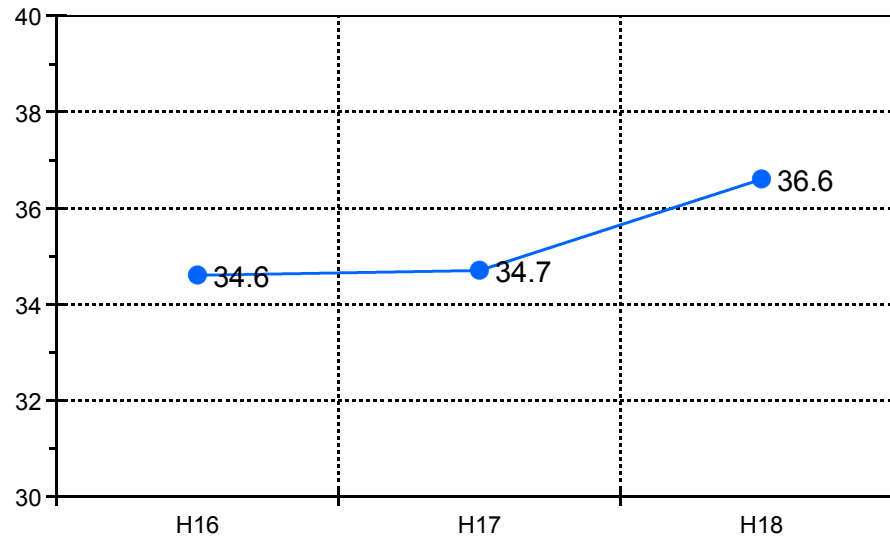
(参考資料)

44 担い手農地集積率（個人・集団を含む）

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46.8% (H17年度)	74.3%	増加に努める	

参考) 認定農業者（団体などを含まない）の集積率

	H16	H17	H18
農地面積 (ha)	7,552.0	7,547.0	7,720.0
集積面積 (ha)	2,611.3	2,617.7	2,822.1
集積率 (%)	34.6%	34.7%	36.6%



説明

出典：農林水産課

基準：各年度末

目標指標の趣旨：農業の生産性向上の目安として、認定農業者などへの集積面積の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：水田農業ビジョンにある74.3%を目指す

10年後の目標：以後、集積率の増加に努める

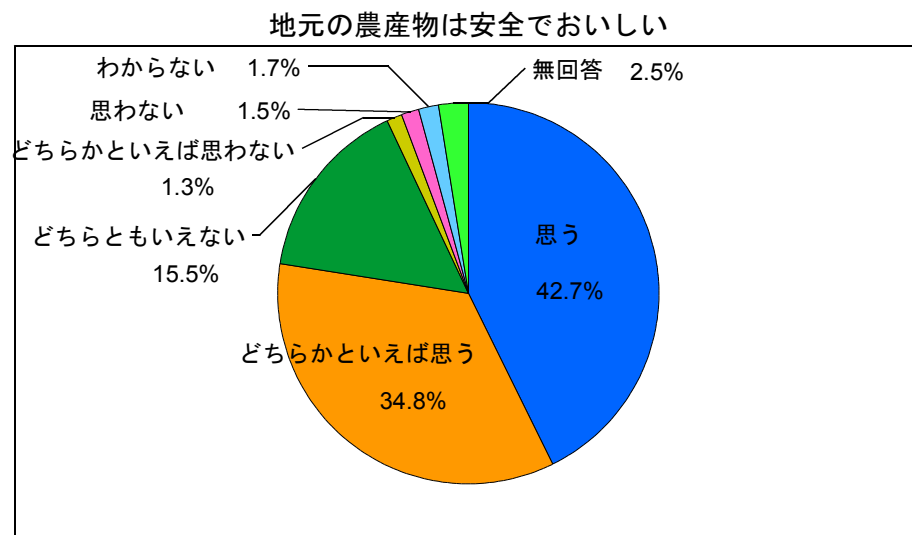
(担当：農林水産課)

2 元気とうるおいのまち
 (3) 力強く持続する農業

(参考資料)

45 地元産の農産物は安全でおいしいと思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	77.5% (H19年度)	80.0%	85.0%	市民意識調査



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計

目標指標の趣旨：農業振興の目安として、地元産の農産物は安全でおいしいと思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：80%を目安に3%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに5%の増加を目指す

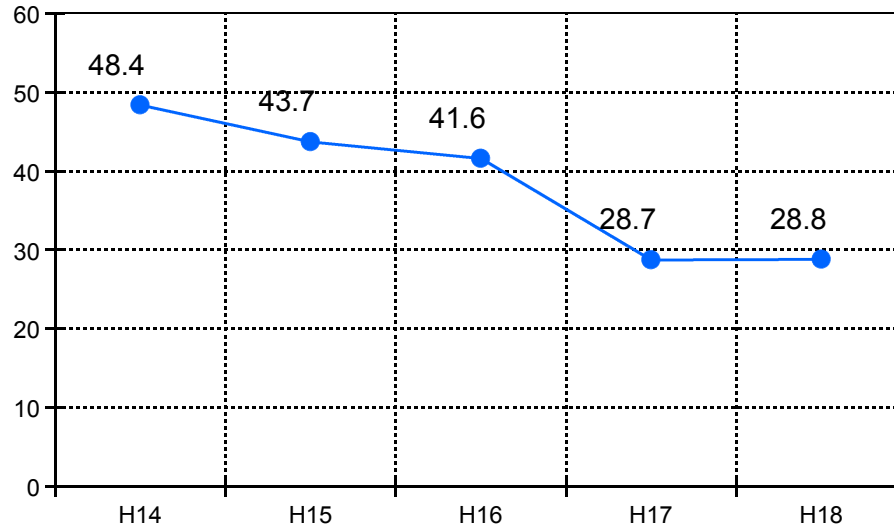
(担当：農林水産課)

2 元気とうるおいのまち
(3) 力強く持続する農業

(参考資料)

46 学校給食で使用している野菜類のうち秋田県産の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	48.4	43.7	41.6	28.7	28.8 (H18年度)	35.0%	40.0%	



説明

出典：学校給食物資使用調査

主体：秋田県教育委員会

基準：各年度の合計

調査時期：毎年7月

*調査対象は野菜類、果物、肉類、魚類、大豆製品

基準値及び目標値は野菜類

目標指標の趣旨：地産地消の目安として、学校給食における野菜類の秋田県産割合の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：35%を目安に6%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに5%の増加を目指す

(担当：学校教育課)

2 元気とうるおいのまち

(参考資料)

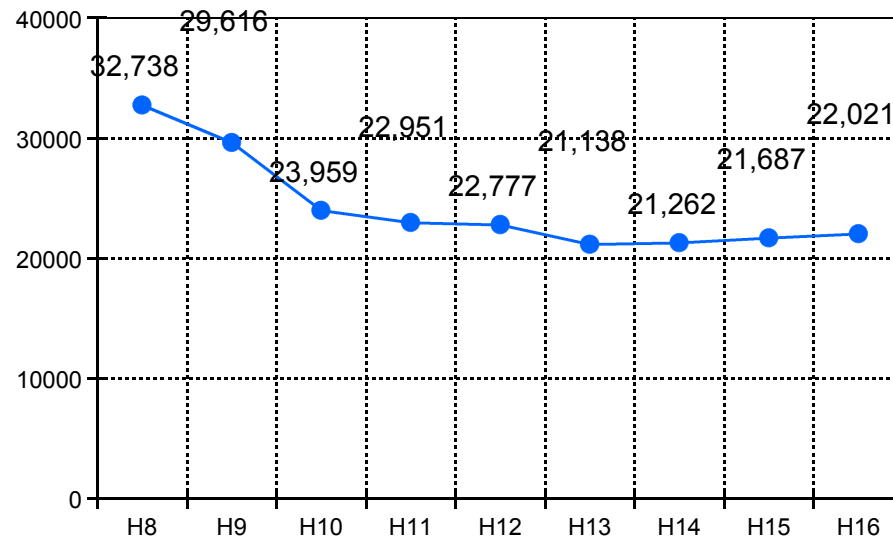
(4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業

47 木材製品出荷額

10年前 H8	9年前 H9	8年前 H10	7年前 H11	6年前 H12	5年前 H13	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
(32738)	(29616)	(23959)	(22951)	(22777)	(21138)	(21262)	(21687)	(22021)	22,195	22,782百万円 (H18年)	23,000百万円	維持	

(二ツ井地域含む)

参考) 旧能代市の推移



説明

出典：木材振興課

基準：年を基準とした市の独自調査

公表時期：翌年の年末

目標指標の趣旨： 木材関連の産業振興の目安として、製品出荷額の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：230億円を目安に2億円程度の増加を目指す

10年後の目標：230億円の水準を維持する

(担当：木材振興課)

2 元気とうるおいのまち

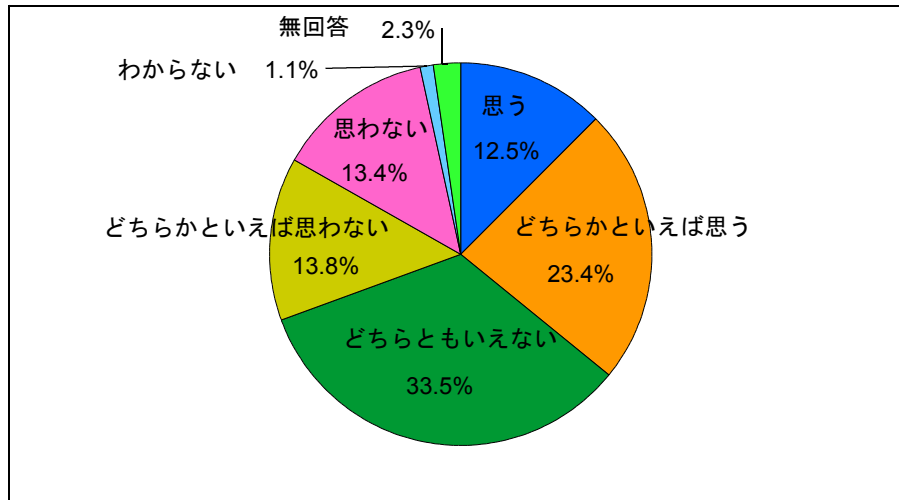
(4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業

(参考資料)

48 木のぬくもりや木のまちとしての雰囲気があると思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35.9% (H19年度)	55.0%	70.0%	市民意識調査

木のまちとして雰囲気がある



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計

目標指標の趣旨：木のまちづくりの目安として、雰囲気があると思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

「どちらともいえない」の基準値は33.5%

5年後の目標：33.5%の半分程度の増加を目指す

10年後の目標：33.5%程度の増加を目指す

(担当：木材振興課)

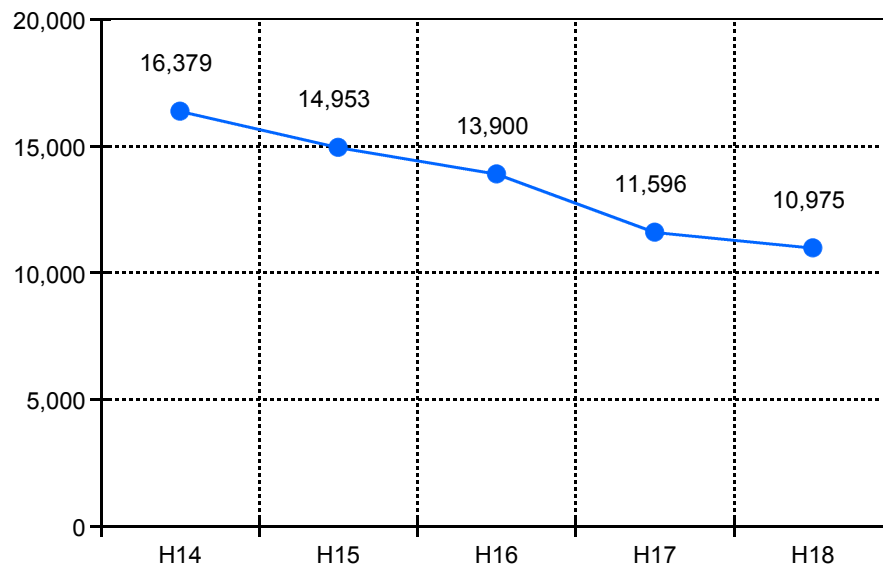
2 元気とうるおいのまち

(参考資料)

(4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業

49 木の学校利用者数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	16,379	14,953	13,900	11,596	10,975 (H18年度)	13,000人	15,000人	



説明

出典：木材振興課

基準：各年度の合計

目標指標の趣旨：木のまちづくりの目安として、木の学校の利用者の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：1万3千人を目安に2千人程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに2千人の増加を目指す

(担当：木材振興課)

2 元気とうるおいのまち

(参考資料)

(4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業

50 共同研究等（委託を含む）で実際に商品化できた件数

10年前	9年前	8年前	7年前 H11	6年前 H12	5年前 H13	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	0	1	0	1	0	0	0	0件 (H18年度)	2件	5件	

説明

出典：木材振興課

基準：5年間（10年間）の累計

参考)

過去に共同研究で実際に商品化できた件数：2件

- ・樹皮ボード（アキモクボード）
- ・円筒LVL（ヘリクス）

目標指標の趣旨：産学官連携の産業振興の目安として、共同研究等での商品化を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：5年間で2件の商品化をめざす

10年後の目標：さらに5年間で3件の商品化をめざす

（担当：木材振興課）

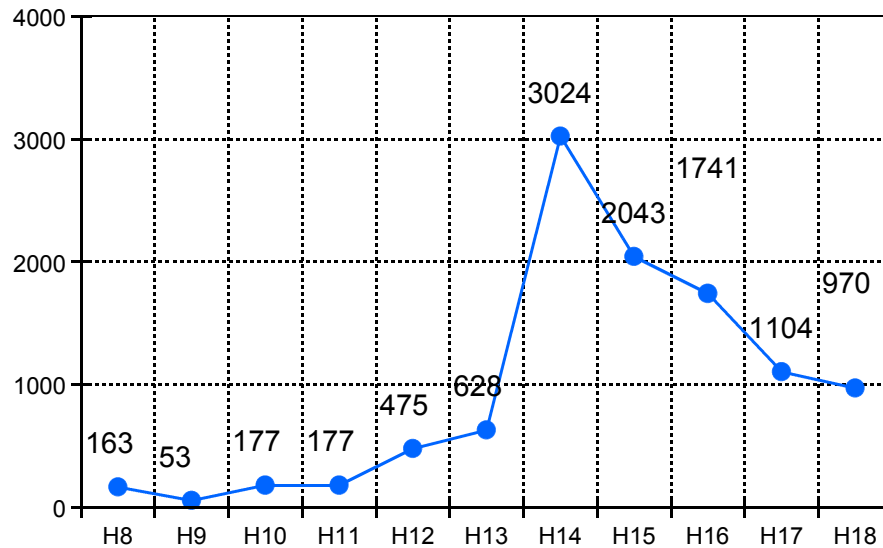
2 元気とうるおいのまち

(参考資料)

(4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業

51 松くい虫被害量

10年前 H8	9年前 H9	8年前 H10	7年前 H11	6年前 H12	5年前 H13	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
163	53	177	177	475	628	3,024	2,043	1,741	1,104	970m3 (H18年度)	750m3	500m3	



説明

出典：農林水産課

主体：秋田県

基準：各年度の合計

目標指標の趣旨： 森林保全の目安として、松くい虫被害量の減少を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：750m3を目安に220m3の減少を目指す

10年後の目標：さらに250m3の減少を目指す

(担当：農林水産課)

2 元気とうるおいのまち

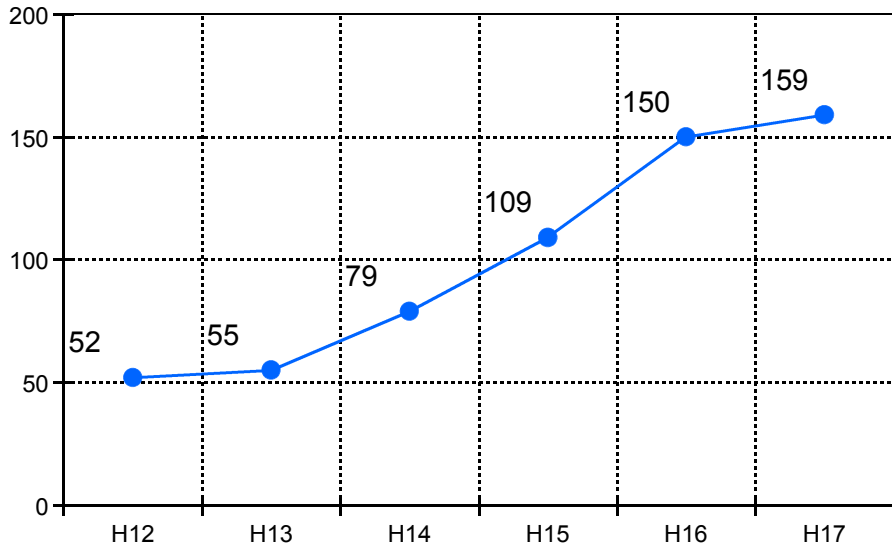
(4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業

(参考資料)

52 漁獲高（海）

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値	10年後目標値	備 考
					H12	H13	H14	H15	H16	H17	(平成24年度)	(平成29年度)	
—	—	—	—	— (ハタハタ)	52 (4)	55 (6)	79 (30)	109 (51)	150 (104)	159 t (H17年度)	159 t	維持	

(110)



説明

出典：秋田農林水産統計年報

主体：東北農政局秋田農政事務所

基準：各年度

公表時期：1年後の年度末

*H16年度とH17年度が増えた要因は、はたはた漁獲高の増

目標指標の趣旨：水産資源の持続的な利用の目安として、漁獲高（海）の水準の維持を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：はたはたの漁獲制限なども考慮し、基準値の水準を維持する

5年後の目標：はたはたの漁獲制限なども考慮し、基準値の水準を維持する

(担当：農林水産課)

2 元気とうるおいのまち

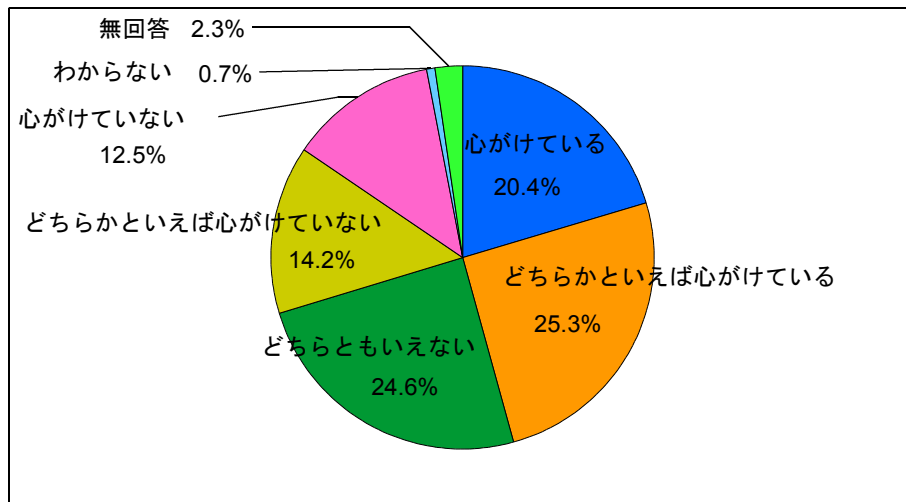
(参考資料)

(5) まちのにぎわいをつくり出す商業

53 地元商店街や近所の商店を利用することを心がけている市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45.7% (H19年度)	58.0%	70.0%	市民意識調査

地元商店街や近所の商店を利用



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「心がけている」「どちらかといえば心がけている」の計

目標指標の趣旨：商業振興の目安として、地元商店街や商店の利用を心がけている人の増加を目指す

目標値の捉え方

「どちらともいえない」の基準値は24.6%

5年後の目標：24.6%の半分程度の増加を目指す

10年後の目標：24.6%程度の増加を目指す

(担当：商工港湾課)

2 元気とうるおいのまち

(参考資料)

(5) まちのにぎわいをつくり出す商業

54 商店街の空き店舗率

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	18.5% (H18年)	18.5%	維持	

商店街の空店舗の状況

H18年10月1日現在

商店街等の名称	営業店舗	空き店舗	総店舗数	空き店舗率
能代市柳町商店街振興組合	61	6	67	9.0%
能代市駅前商店街振興組合	44	13	57	22.8%
能代市畠町商店街振興組合	50	21	71	29.6%
小計（活性化重点区域）	155	40	195	20.5%
能代中央商店会	34	5	39	12.8%
能代中和大通り商店会	46	11	57	19.3%
能代西大通り商店会	25	7	32	21.9%
小計（中心市街地区域）	260	63	323	19.5%
能代南地区商店会	58	0	58	0.0%
二ツ井町駅通り商店会	84	22	106	20.8%
二ツ井町本町通り商店会	40	15	55	27.3%
合 計	442	100	542	18.5%

※各商店街に対する電話聴き取りにより作成

説明

出典：商工港湾課

基準：商店街の総店舗に占める空き店舗の割合

目標指標の趣旨： 商店街活性化の目安として、空き店舗率の減少を目指す
(→増加傾向にある空き店舗率の抑制を目指す)

目標値の捉え方

5年後の目標：基準値の水準を維持する

10年後の目標：基準値の水準を維持する

(担当：商工港湾課)

2 元気とうるおいのまち

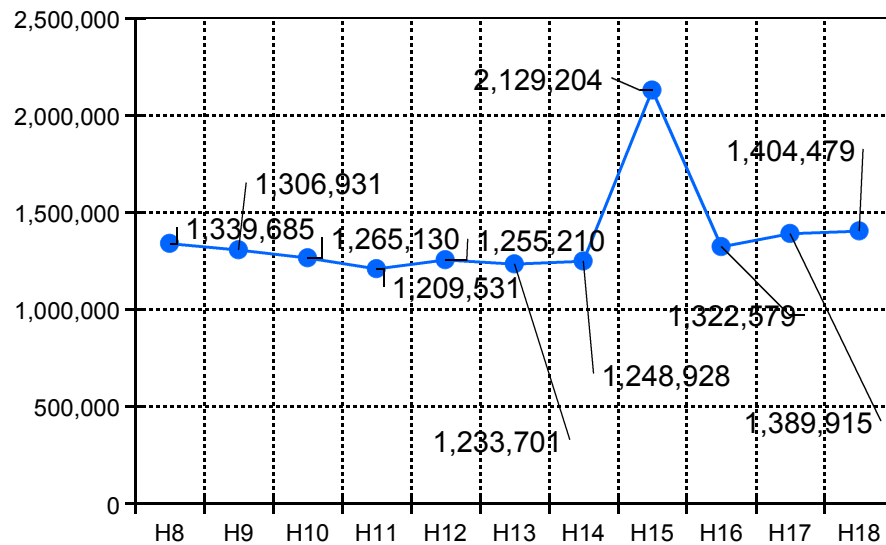
(参考資料)

(6) 豊かな自然とその恵みを活かす観光

55 観光客入込客数

10年前 H9	9年前 H10	8年前 H11	7年前 H12	6年前 H13	5年前 H14	4年前 H15	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値 (H19年)	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
1,306,931	1,265,130	1,209,531	1,255,210	1,233,701	1,248,928	2,129,204	1,322,579	1,389,915	1,404,479	1,397,546人 (H19年)	1,600,000人	1,800,000人	

種苗交換会



説明

出典：観光振興課

基準：年間の合計

集計時期：2月下旬

目標指標の趣旨：観光振興の目安として、観光客入込客の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：160万人を目安に20万人程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに20万人の増加を目指す

(担当：観光振興課)

2 元気とうるおいのまち

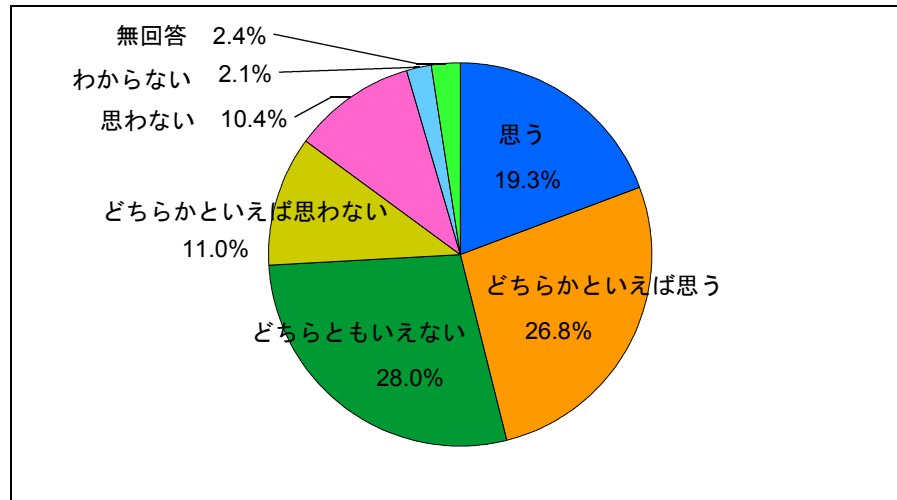
(参考資料)

(6) 豊かな自然とその恵みを活かす観光

56 豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46.1% (H19年度)	56.0%	70.0%	市民意識調査

他に誇れる観光資源がある



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計

目標指標の趣旨：観光資源の魅力の目安として、他に誇れると思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：10%程度の増加を目指す

10年後の目標：70%を目安にさらに14%の増加を目指す

(担当：観光振興課)

2 元気とうるおいのまち

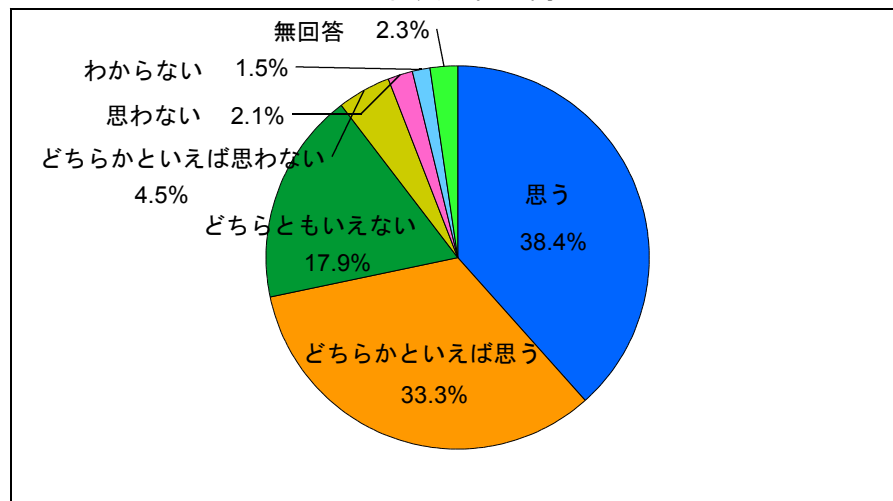
(参考資料)

(7) 自然と共生し地域で支える環境保全

57 米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は、他に誇れると思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	71.7% (H19年度)	81.0%	90.0%	市民意識調査

豊かな自然は他に誇れる



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計

目標指標の趣旨：自然環境の保全と活用の目安として、豊かな自然を誇りに思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：10%程度の増加を目指す

10年後の目標：90%を目安にさらに9%の増加を目指す

(担当：環境企画課)

(担当：環境衛生課)

2 元気とうるおいのまち

(参考資料)

(7) 自然と共生し地域で支える環境保全

58 環境自治体スタンダード (LAS-E) の合格ステージ

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	第1ステージ の合格 (H19年度)	第2ステージ、エコア クション部 門の合格	着実にレベ ルを上げる	

*H19からは能代市全体で第1ステージから実施

参考)

	H15	H16	H17	H18
旧二ツ井町	第1ステージ	第1＋第2ステージ	継続	継続

(第2ステージはエコアクション部門のみ)

参考) LAS-Eの類型区分と取り組み内容

部門	ステージ (→ハイレベル)		
	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
エコアクション (環境活動) 部門 環境問題解決や地域の持 続可能な発展のために必 要な対策が行われている	庁内事務活動におけ る環境配慮	事業活動における環 境配慮、地域全体の 環境政策実施	持続可能な地域づく り(環境・経済・社 会の調和) 政策
エコマネジメント (環境経営) 部門 環境に対する総合的で効 率的な行政運営や政策立 案が行われている	環境を意識した行政 運営(環境に配慮し た職員意識の醸成)	総合的・体系的な行 政運営(計画づくり とフォローアップ)	戦略的アセスメント の考え方に基づく行 政運営(施策の効果 や優先度を客観的に 判断)
エコガバナンス (環境自治) 部門 市民・事業者とのパート ナーシップによる事業の 実施や政策決定が行われ ている	政策・事業内容やそ の検討・実施プロセ スの公開	政策や事業の立案・ 実施プロセスへの市 民参加	市民・事業者との協 働または市民主導に よる政策決定・政策 実施

説明

出典：環境企画課
基準：運用の結果に基づく合格判定
判定時期：12月下旬

目標指標の趣旨：環境にやさしいまちの目安として、環境自治体スタンダードのレベルアップを目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：第2ステージ、エコアクション部門の合格を目指す
10年後の目標：さらに着実にレベルを上げることを目指す

(担当：環境企画課)

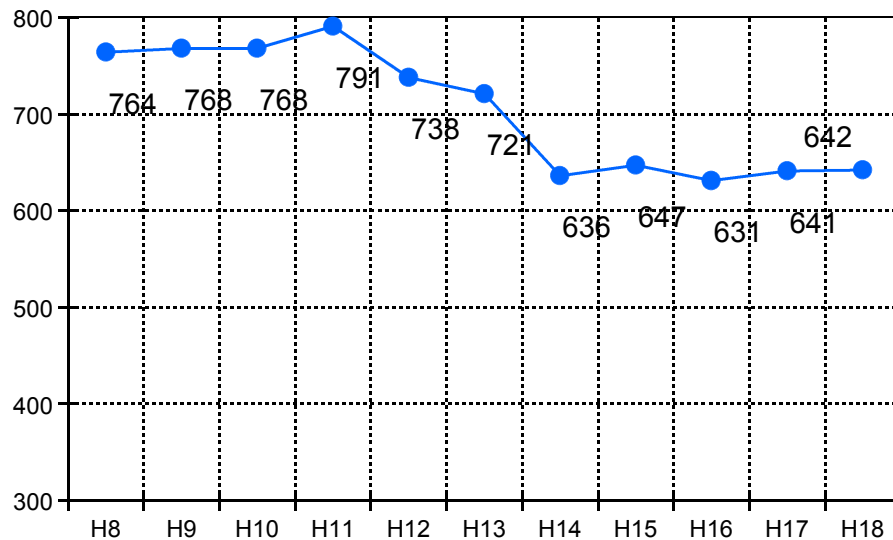
2 元気とうるおいのまち

(参考資料)

(8) 資源を大切に社会を持続させる衛生環境

59 1人1日あたりごみ排出量

10年前 H8	9年前 H9	8年前 H10	7年前 H11	6年前 H12	5年前 H13	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
764	768	768	791	738	721	636	647	631	641	642 (H18年度)	544 g	544 g 以下	



説明

出典：環境衛生課

基準：市民1人1日あたりの家庭系ごみ（資源化物を除く）の排出量

* 目標数値は一般廃棄物処理基本計画より

目標指標の趣旨：ごみの減量化や資源化の目安として、ごみ排出量の減少を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：H17年度（641 g）の15%削減を目指す

10年後の目標：さらに削減を目指す

（担当：環境衛生課）

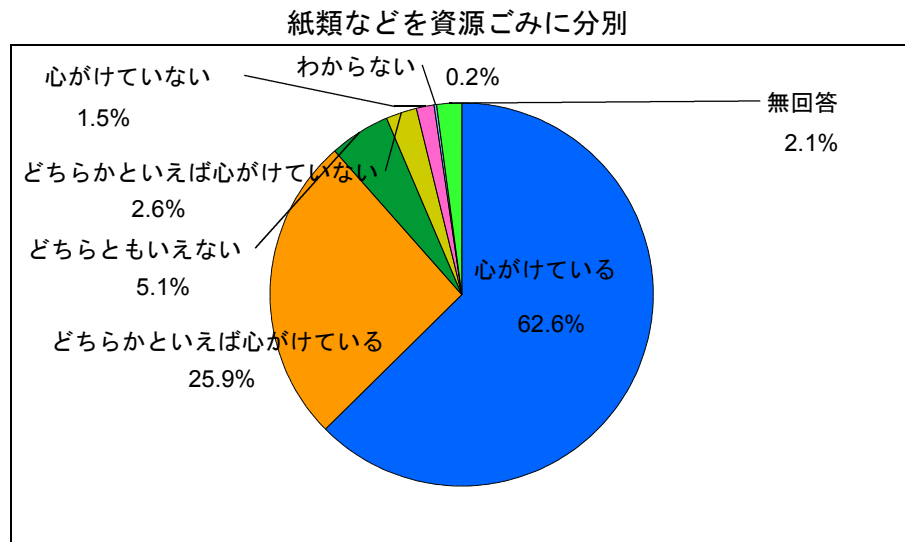
2 元気とうるおいのまち

(参考資料)

(8) 資源を大切に社会を持続させる衛生環境

60 限りある資源を大切にするため、紙類などを資源ごみに分別することを心がけている市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	88.5% (H19年度)	92.0%	95.0%	市民意識調査



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「心がけている」「どちらかといえば心がけている」の計

目標指標の趣旨：ごみの減量化や資源化の目安として、ごみの分別を心がけている人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：3%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに3%の増加を目指す

(担当：環境衛生課)

3 安全と安心のまち

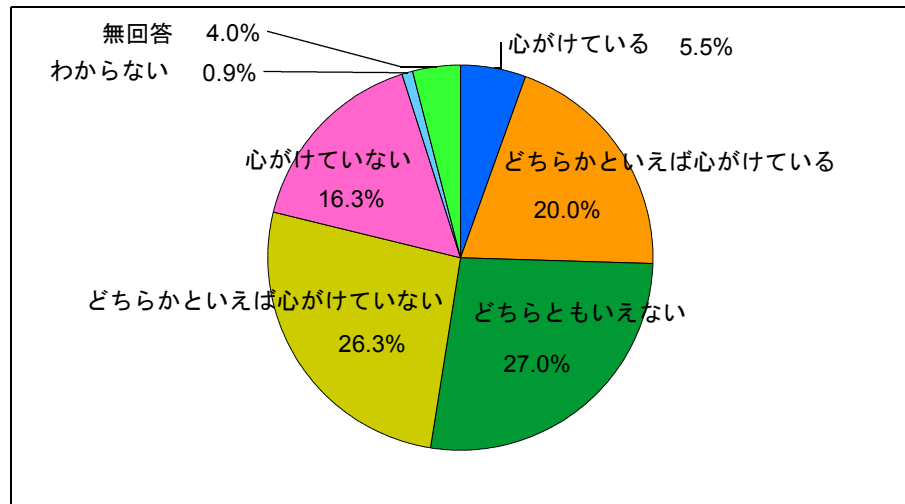
(参考資料)

(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

61 災害などもしもの場合に普段から備えることを心にかけている市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25.5% (H19年度)	30.0%	40.0%	市民意識調査

もしもの場合に普段から備えること



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「心がけている」「どちらかといえば心がけている」の計

目標指標の趣旨：防災体制の目安として、普段から災害などに備えることを心がけている人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：30%を目安に5%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに10%の増加を目指す

(担当：総務課)

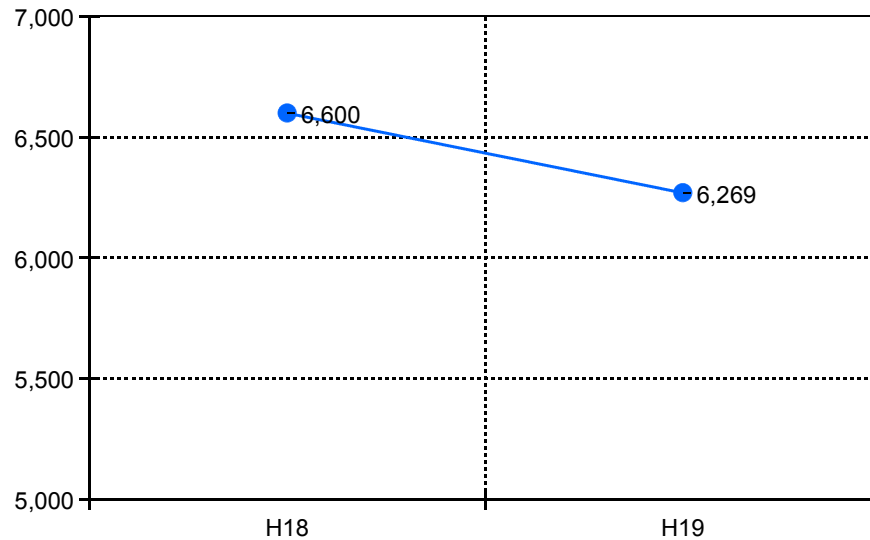
3 安全と安心のまち

(参考資料)

(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

62 防災訓練参加者数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	6,600	6,269 (H19年度)	7,100人	7,600人	



説明

出典：総務課

基準：各年度の参加者見込数

*集計の対象は、公共施設・住民組織・企業等主催を含む防災訓練参加者数

目標指標の趣旨：防災体制の目安として、防災訓練の参加者の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：H18年度（6,600人）の500人の増加を目指す

10年後の目標：さらに500人の増加を目指す

(担当：総務課)

3 安全と安心のまち

(参考資料)

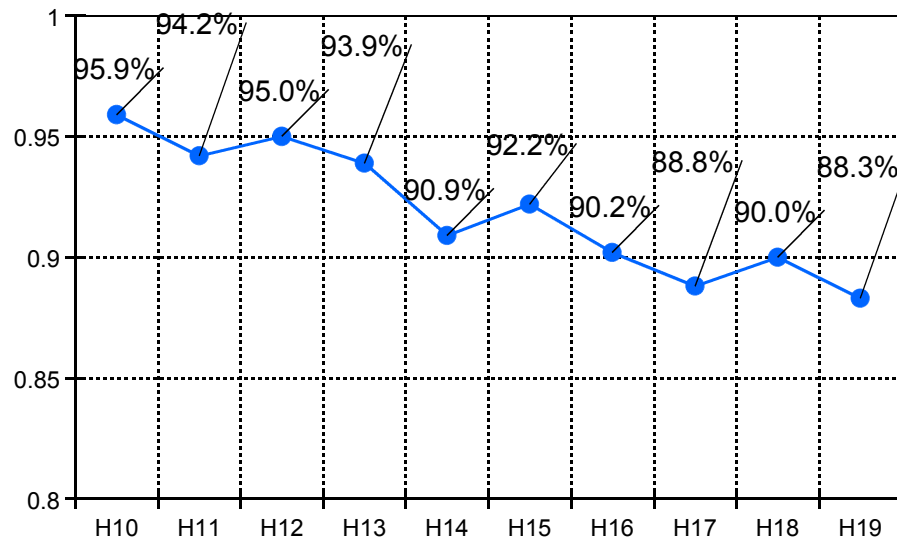
(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

63 消防団員の定員の充足率

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値	10年後目標値	備 考
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	(平成24年度)	(平成29年度)	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	89.3%	86.8%	88.0%	維持	
										(H19年度)			

参考) 旧能代市の推移

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
実員数	614	603	608	601	582	590	577	568
充足率	95.9%	94.2%	95.0%	93.9%	90.9%	92.2%	90.2%	88.8%



説明

出典：総務課

基準：各年4月1日現在

* 条例定数

能代：640人、二ツ井：272人（計912人）

能代市消防団

	H18実員数	H18充足率	H19実員数	H19充足率
能代	576人	90.0%	565人	88.3%
二ツ井	238人	87.5%	227人	83.5%
計	814人	89.3%	792人	86.8%

目標指標の趣旨： 防災体制の目安として、消防団員の充足率の増加を目指す（→減少傾向にある充足率の抑制を目指す）

目標値の捉え方

5年後の目標：88%（800人程度）の水準を維持する

10年後の目標：88%（800人程度）の水準を維持する

（担当：総務課）

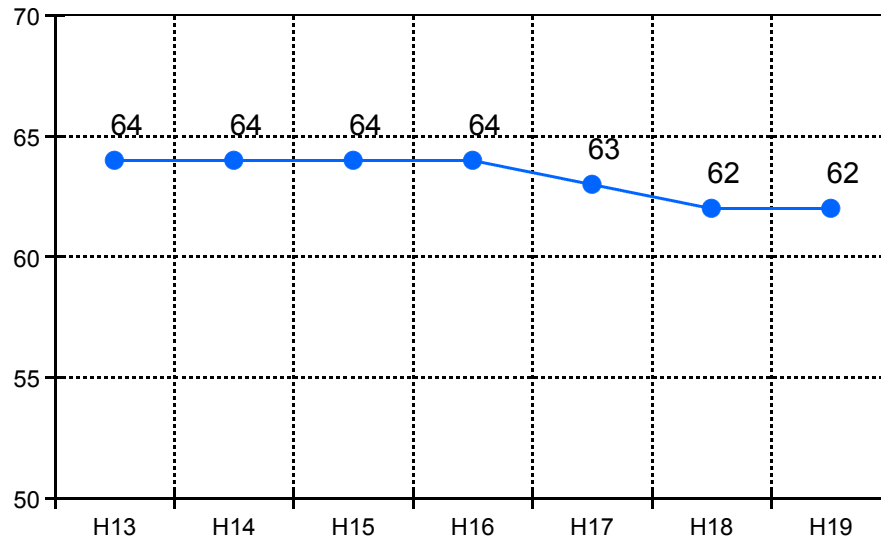
3 安全と安心のまち

(参考資料)

(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

64 がけ地近接等の危険住宅の戸数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前 H13	5年前 H14	4年前 H15	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	64	64	64	64	63	62	62戸 (H19年度)	61戸	60戸	



説明

出典：都市整備課

基準：各年4月1日現在

* 能代市がけ地近接危険住宅移転事業に関する条例

目標指標の趣旨：暮らしの安全性の目安として、危険住宅の減少を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：5年間で1戸の減少を目指す

10年後の目標：さらに5年間で1戸の減少を目指す

(担当：都市整備課)

3 安全と安心のまち

(参考資料)

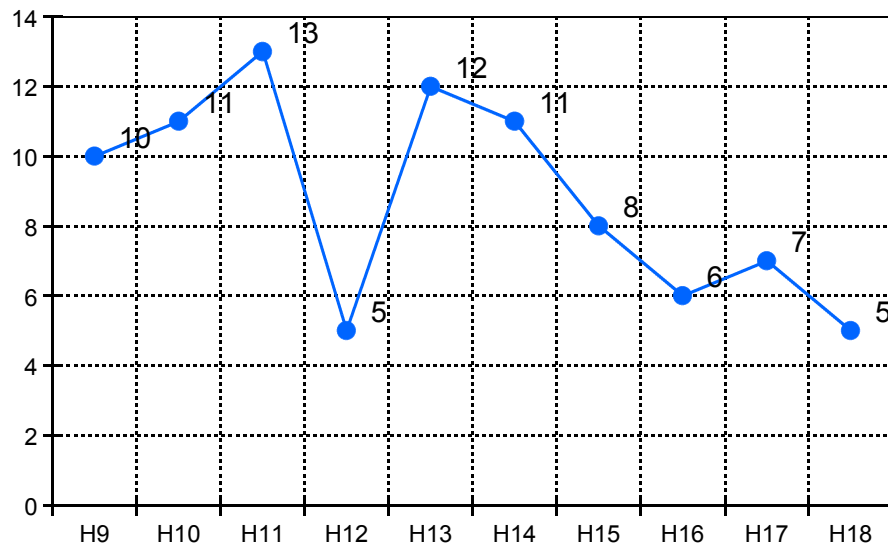
(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

65 能代警察署管内の交通事故死者数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値	10年後目標値	備 考
	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	(平成24年度)	(平成29年度)	
—	10	11	13	5	12	11	8	6	7	5人 (H18年)	4人	3人	

参考) 上記のうち高齢者の数

年	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
高齢死者	1	0	1	0	2	9	4	5	7	2



説明

出典：能代警察署

基準：年間の合計

目標指標の趣旨：交通安全の目安として、交通事故による死者の減少を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：1人の減少を目指す

10年後の目標：さらに1人の減少を目指す

(担当：市民活力推進課)

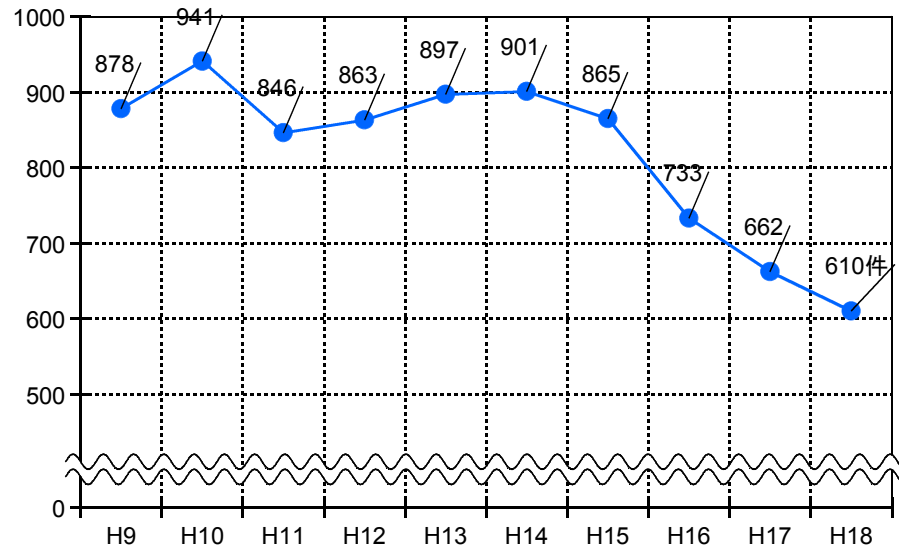
3 安全と安心のまち

(参考資料)

(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

66 能代警察署管内の犯罪件数

10年前	9年前 H9	8年前 H10	7年前 H11	6年前 H12	5年前 H13	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	878	941	846	863	897	901	865	733	662	610件 (H18年)	550件	500件	



説明

出典：能代警察署

基準：年間の合計

* 数値の内訳：凶悪、粗暴、窃盗、知能、風俗、その他

目標指標の趣旨：暮らしの安全性の目安として、犯罪の減少を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：550件を目安に60件の減少を目指す

10年後の目標：さらに50件の減少を目指す

(担当：市民活力推進課)

3 安全と安心のまち

(参考資料)

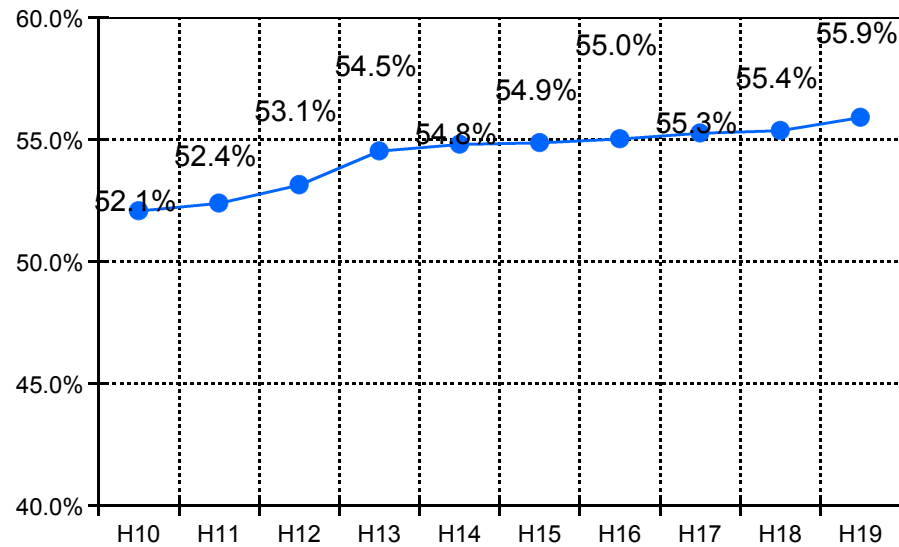
(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

67 道路の整備延長（改良率）

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値	10年後目標値	備 考
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	(平成24年度)	(平成29年度)	
—	52.1%	52.4%	53.1%	54.5%	54.8%	54.9%	55.0%	55.3%	55.4%	55.9% (H19年度)	56.5%	57.0%	

参考) 上記の内訳

(合計)	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
道路の実延長(m)	703,162	706,598	718,884	719,535	722,044	721,901	723,234	725,185	727,707	733,208
改良延長(m)	366,139	370,222	382,043	392,343	395,699	396,122	398,033	400,765	402,903	409,887



説明

出典：道路河川課

基準：市道の実延長に占める改良済み延長の割合、各年4月1日現在

目標指標の趣旨：生活基盤整備の目安として、市道の改良率の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：0.5%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに0.5%程度の増加を目指す

(担当：道路河川課)

3 安全と安心のまち

(参考資料)

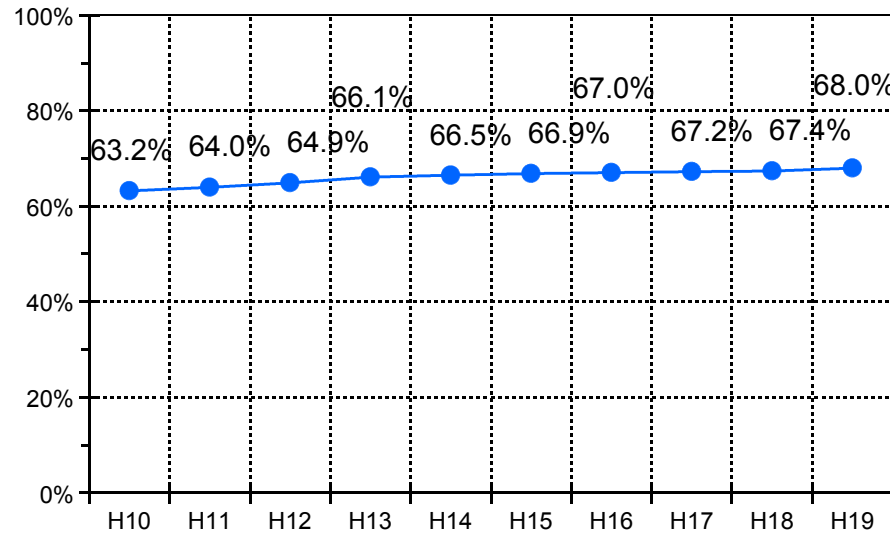
(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

68 道路の整備延長（舗装率）

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値	10年後目標値	備 考
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	(平成24年度)	(平成29年度)	
—	63.2%	64.0%	64.9%	66.1%	66.5%	66.9%	67.0%	67.2%	67.4%	68.0% (H19年度)	69.5%	71.0%	

参考) 上記の内訳

(合計)	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
道路の実延長(m)	703,162	706,598	718,884	719,535	722,044	721,901	723,234	725,185	727,707	733,208
舗装延長(m)	444,666	452,019	466,801	475,608	480,032	482,714	484,898	487,649	490,447	498,624



説明

出典：道路河川課

基準：市道の実延長に占める舗装済み延長の割合、各年4月1日現在

目標指標の趣旨：生活基盤整備の目安として、市道の舗装率の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：1.5%の増加を目指す

10年後の目標：さらに1.5%の増加を目指す

(担当：道路河川課)

3 安全と安心のまち

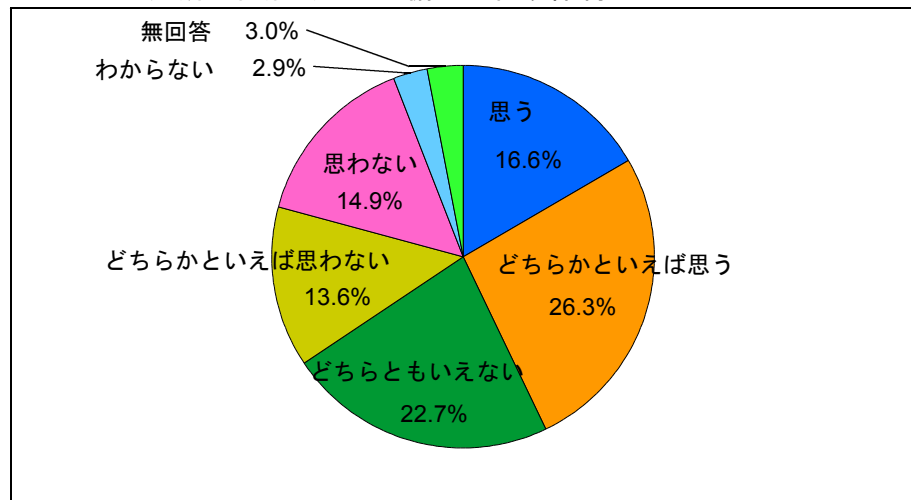
(参考資料)

(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

69 除排雪や清掃活動など、近所や自治会・町内会などで協力しあう体制が整っていると思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42.9% (H19年度)	48.0%	53.0%	市民意識調査

近所や自治会などで協力し合う体制が整っている



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計

目標指標の趣旨：除排雪などの協力体制の目安として、近所などで協力しあう体制が整っていると思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：5%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに5%の増加を目指す

(担当：道路河川課)

(担当：市民活力推進課)

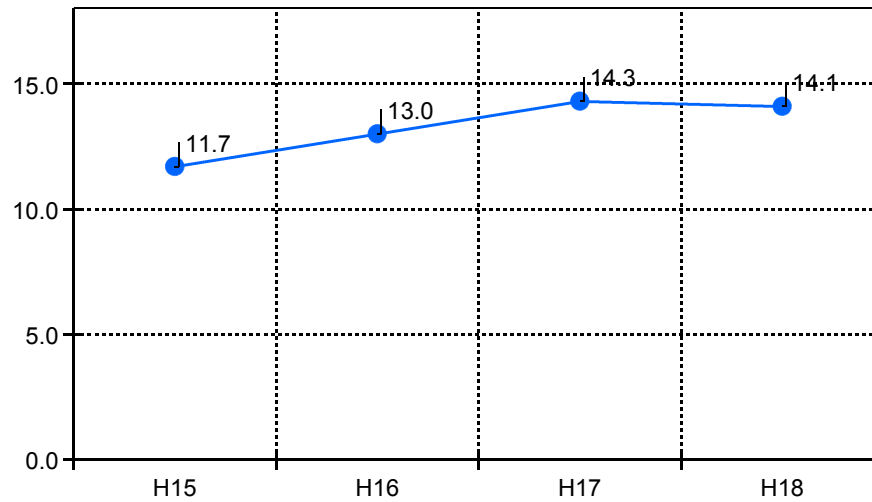
3 安全と安心のまち

(参考資料)

(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

70 巡回バスの1便平均利用者数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値	10年後目標値	備 考
							H15	H16	H17	H18	(平成24年度)	(平成29年度)	
—	—	—	—	—	—	—	11.7	13.0	14.3	14.1 (H18年度)	16.0人	18.0人	



説明

出典：商工港湾課

基準：巡回バス1便あたりの利用者数の年度実績（試験運行を除く）

*H15年6月運行開始

目標指標の趣旨：交通の利便性の目安として、巡回バスの1便平均利用者数の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：1便平均2人程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに1便平均2人の増加を目指す

(担当：商工港湾課)

3 安全と安心のまち

(参考資料)

(3) 効果的で調和のとれた土地利用

71 中心市街地活性化重点区域の空き店舗率

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20.5% (H18年度)	20.5%	維持	

確認内容：空き家についての統計資料はありませんでした。

商店街の空店舗の状況

H18年10月1日現在

商店街等の名称	営業店舗	空き店舗	総店舗数	空き店舗率
能代市柳町商店街振興組合	61	6	67	9.0%
能代市駅前商店街振興組合	44	13	57	22.8%
能代市島町商店街振興組合	50	21	71	29.6%
小計（活性化重点区域）	155	40	195	20.5%
能代中央商店会	34	5	39	12.8%
能代中和大通り商店会	46	11	57	19.3%
能代西大通り商店会	25	7	32	21.9%
小計（中心市街地地域）	260	63	323	19.5%
能代南地区商店会	58	0	58	0.0%
二ツ井町駅通り商店会	84	22	106	20.8%
二ツ井町本町通り商店会	40	15	55	27.3%
合 計	442	100	542	18.5%

※各商店街に対する電話聴き取りにより作成

説明

出典：商工港湾課

基準：重点区域内の3商店街の総店舗に占める空き店舗の割合

目標指標の趣旨： 中心市街地活性化の目安として、重点区域の空き店舗率の減少を目指す

（→増加傾向にある空き店舗率の抑制を目指す）

目標値の捉え方

5年後の目標：基準値の水準を維持する

10年後の目標：基準値の水準を維持する

（担当：商工港湾課）

3 安全と安心のまち

(参考資料)

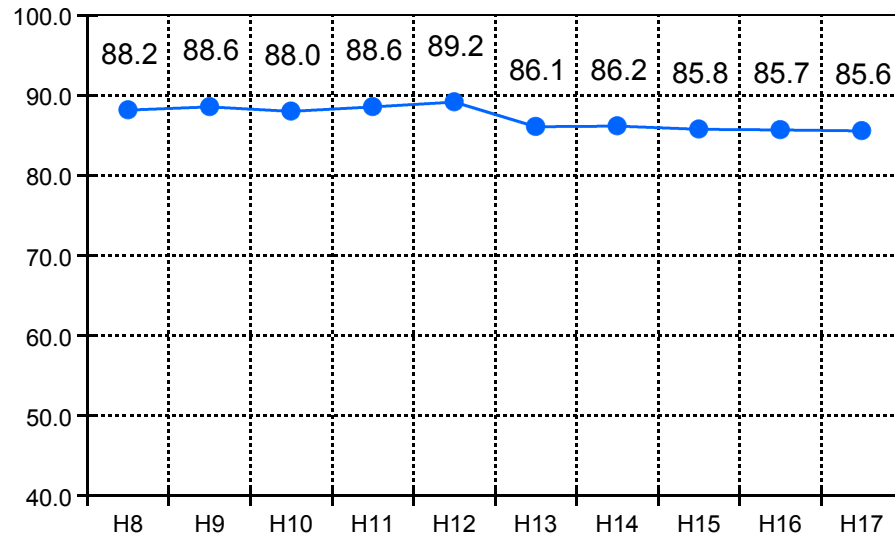
(4) 快適で暮らしやすい住環境

72 水道普及率

10年前	9年前 H8	8年前 H9	7年前 H10	6年前 H11	5年前 H12	4年前 H13	3年前 H14	2年前 H15	1年前 H16	基準値 H17	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	88.2	88.6	88.0	88.6	89.2	86.1	86.2	85.8	85.7	85.6% (H17年度末)	86.0%	87.0%	

参考) 上記の内訳

		H 8	H 9	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4	H 1 5	H 1 6	H 1 7
能代地域	行政区域	54,424	54,162	53,817	53,437	53,003	52,561	52,250	51,971	51,581	
	給水人口	52,332	52,380	51,975	51,664	51,678	49,684	49,426	49,229	48,819	
	普及率	96.2%	96.7%	96.6%	96.7%	97.5%	94.5%	94.6%	94.7%	94.6%	
二ツ井地	行政区域	12,560	12,403	12,216	12,030	11,844	11,736	11,572	11,450	11,267	
	給水人口	6,722	6,574	6,139	6,362	6,181	5,661	5,582	5,215	5,063	
	普及率	53.5%	53.0%	50.3%	52.9%	52.2%	48.2%	48.2%	45.5%	44.9%	
能代市	行政区域	66,984	66,565	66,033	65,467	64,847	64,297	63,822	63,421	62,848	62,429
	給水人口	59,054	58,954	58,114	58,026	57,859	55,345	55,008	54,444	53,882	53,412
	普及率	88.2%	88.6%	88.0%	88.6%	89.2%	86.1%	86.2%	85.8%	85.7%	85.6%



説明

出典：水道課

基準：行政区域内人口に占める給水人口の割合、年度末現在

目標指標の趣旨： 快適な生活環境の目安として、水道普及率の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：86%を目安に0.5%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに1%の増加を目指す

(担当：水道課)

3 安全と安心のまち

(参考資料)

(4) 快適で暮らしやすい住環境

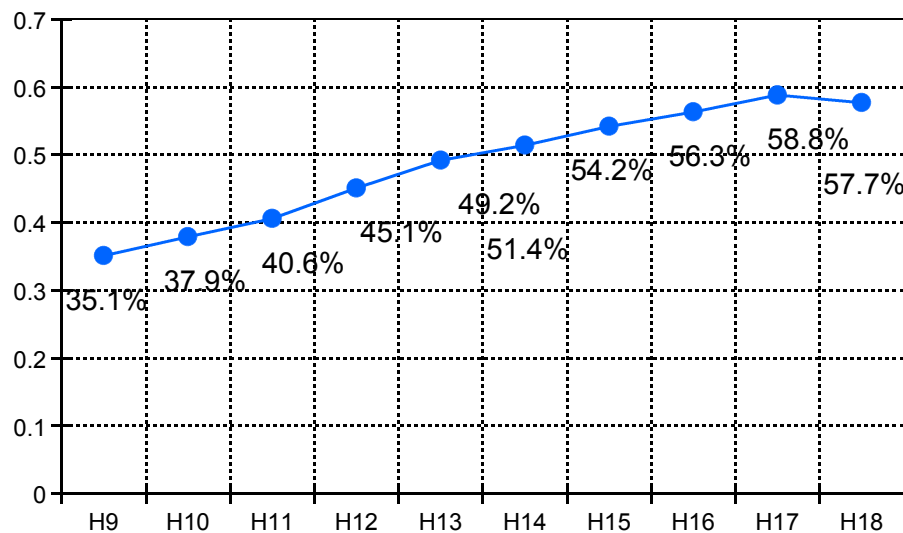
73 汚水処理人口普及率

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値	10年後目標値	備 考
	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	(平成24年度)	(平成29年度)	
—	35.1	37.9	40.6	45.1	49.2	51.4	54.2	56.3	58.8	57.7% (H18年度末)	67.6%	80.0%	

参考) 上記の内訳

人口	68,220	67,665	67,034	66,614	66,007	65,543	65,115	64,573	63,985	63,298
処理人口	23,941	25,670	27,231	30,050	32,486	33,702	35,310	36,357	37,635	36,504
普及率	35.1%	37.9%	40.6%	45.1%	49.2%	51.4%	54.2%	56.3%	58.8%	57.7%

* 処理人口には公共下水道、農業集落排水、浄化槽を含む



説明

出典：下水道課

基準：行政区域内人口に占める汚水処理人口の割合、年度末現在

目標指標の趣旨： 快適な生活環境の目安として、汚水処理人口普及率の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：1%程度の増加を目指す

10年後の目標：80%を目安に12%程度の増加を目指す

(担当：下水道課)

3 安全と安心のまち

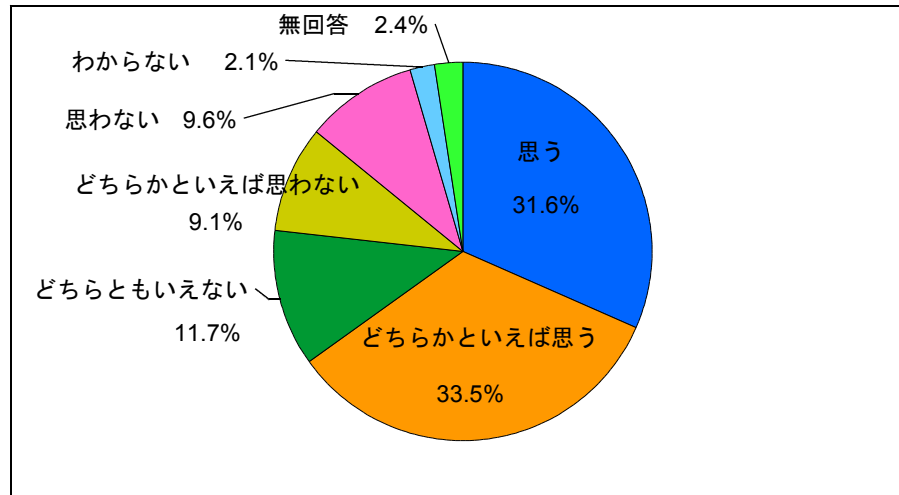
(参考資料)

(4) 快適で暮らしやすい住環境

74 飲用水の確保や生活排水の処理など、衛生的な生活環境は維持されていると思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65.1% (H19年度)	69.0%	75.0%	市民意識調査

衛生的な生活環境は維持されている



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計

目標指標の趣旨：衛生的な生活環境の目安として、飲用水確保や生活排水処理が維持されていると思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：(86.0% (水道) + 67.6 (汚水)) ÷ 2 × 0.909 ≒ 69.0%

10年後の目標：(87.0% (水道) + 80.0 (汚水)) ÷ 2 × 0.909 ≒ 75.0%

* 基準値では、水道普及率 (85.6%) と汚水処理人口普及率 (57.7%) の平均値 (71.65) に対して、市民意識調査では65.1%が衛生的な生活環境が維持されていると感じている。(割合=0.909)

(担当：水道課)

(担当：下水道課)

3 安全と安心のまち

(参考資料)

(4) 快適で暮らしやすい住環境

75 ブロードバンド世帯カバー率

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	98.9% (H19年度)	100.0%	100.0%	

参考) 上記の内訳

平成20年1月31日現在

	市全域	A D S L		光ファイバー	
		整備済	未整備	整備済	未整備
世帯数	24,645	23,713	932	17,592	7,053
世帯カバー率		96.2%	3.8%	71.4%	28.6%

※常盤地区整備後	24,386	259
	98.9%	1.1%

説明

出典：地域情報課

基準：全世帯に占めるADSL・光ファイバー整備済み世帯の割合、年度末現在

※常盤地区H20.3.3供用開始

目標指標の趣旨： 情報通信の利用環境の目安として、ブロードバンドの全世帯カバーを目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：カバー率100%を目指す

10年後の目標：カバー率100%を目指す

(担当：地域情報課)

3 安全と安心のまち

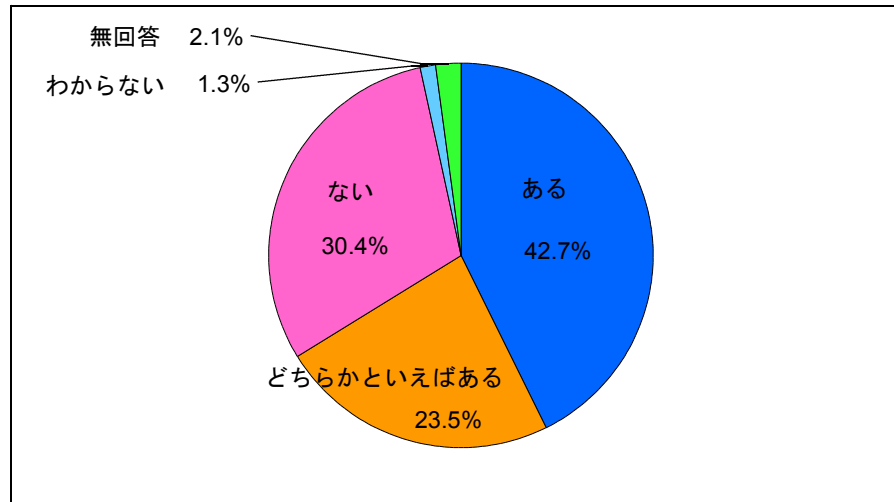
(参考資料)

(5) 安心でき健康を保てる医療体制

76 身近なかかりつけ医を持っている市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66.2% (H19年度)	75.0%	85.0%	市民意識調査

身近なかかりつけ医



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「ある」「どちらかといえばある」の計

目標指標の趣旨：安心できる医療体制の目安として、かかりつけ医を持っている人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：75%を目安に9%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに10%の増加を目指す

(担当：健康づくり課)

3 安全と安心のまち

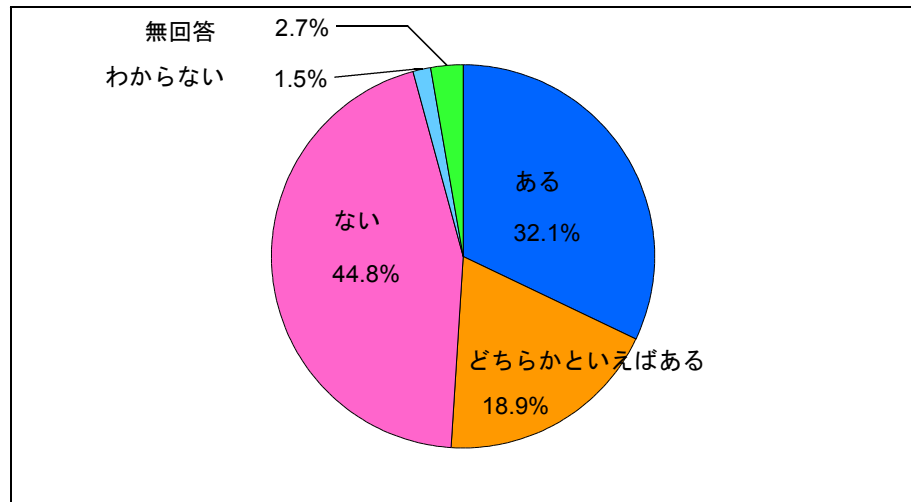
(参考資料)

(5) 安心でき健康を保てる医療体制

77 身近なかかりつけ薬局を持っている市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51.0% (H19年度)	65.0%	75.0%	市民意識調査

身近なかかりつけ薬局



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「ある」「どちらかといえばある」の計

目標指標の趣旨：安心できる医療体制の目安として、かかりつけ薬局を持っている人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：65%を目安に14%の増加を目指す

10年後の目標：さらに10%の増加を目指す

(担当：健康づくり課)

3 安全と安心のまち

(参考資料)

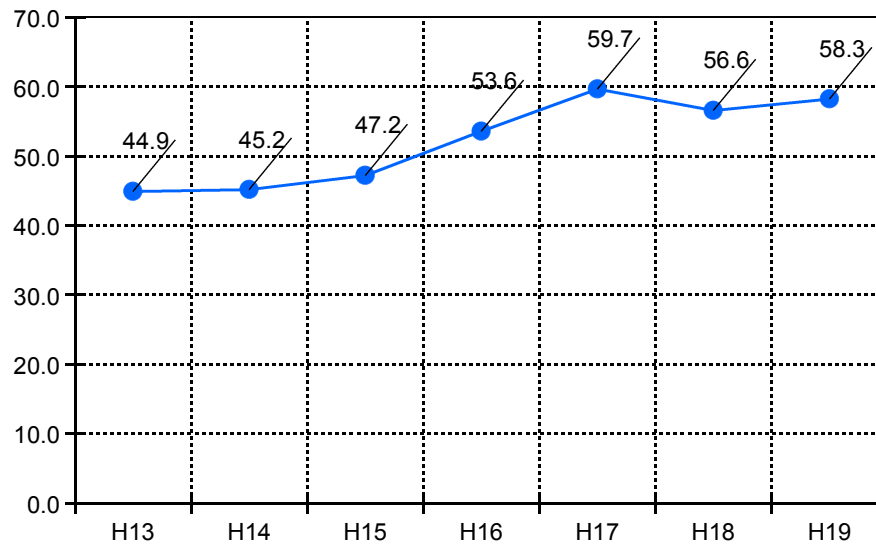
(6) 不安のない生活を支える社会保障制度

78 要介護2～5に対する介護三施設等利用者の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値	10年後目標値	備 考
				H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	(平成24年度)	(平成29年度)	
—	—	—	—	44.9	45.2	47.2	53.6	59.7	56.6	58.3%	60.0%	維持	
										(H19年度)			

参考) 上記の内訳

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
介護2～5・・・①	1,202	1,294	1,434	1,422	1,428	1,499	1,500
3施設＋グループホーム・・・②	540	585	677	762	852	848	874
3施設利用者	530	552	562	595	649	599	618
グループホーム利用者	10	33	115	167	203	249	256
率 (②÷①)	44.9%	45.2%	47.2%	53.6%	59.7%	56.6%	58.3%



説明

出典：長寿いきがい課

基準：要介護2～5に対する施設・介護専用居住系サービス利用者の割合、各年4月1日現在

*施設・介護専用居住系サービスとは、介護保険三施設、グループホーム、介護専用型特定施設、地域密着型介護老人福祉施設及び地域密着型特定施設の入所者へのサービスのこと

目標指標の趣旨：介護保険制度の適正利用の目安として、要介護2～5に対する介護施設等利用者の割合の減少を目指す
(→増加傾向にある要介護2～5に対する割合の抑制を目指す)

目標値の捉え方

5年後の目標：60%に抑制することを目指す

10年後の目標：60%の水準を維持する

(担当：長寿いきがい課)

3 安全と安心のまち

(参考資料)

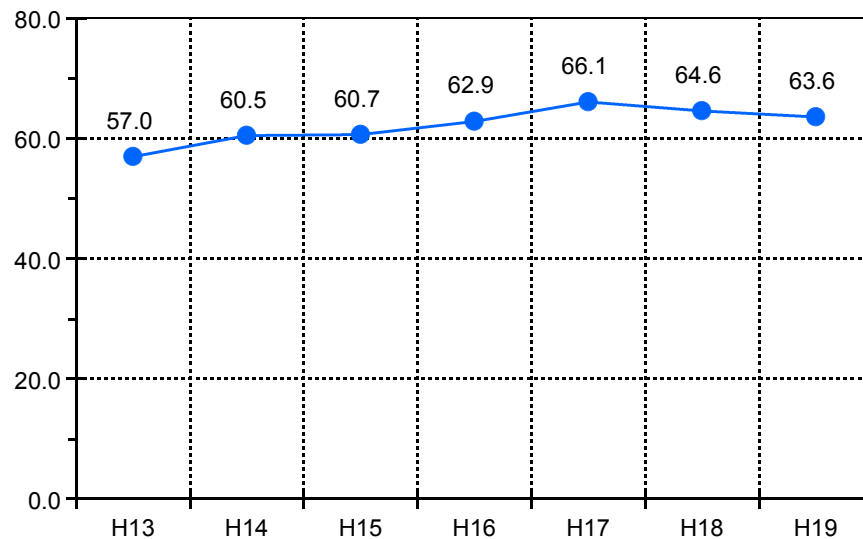
(6) 不安のない生活を支える社会保障制度

79 介護三施設と地域密着型特養の利用者に対する要介護4・5の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値	5年後目標値	10年後目標値	備 考
				H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	(平成24年度)	(平成29年度)	
—	—	—	—	57.0	60.5	60.7	62.9	66.1	64.6	63.6% (H19年度)	65.0%	維持	

参考) 上記の内訳

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
3施設利用者・・・①	530	552	562	595	649	599	618
3施設＋地域密着型特養・・・②	302	334	341	374	429	387	393
3施設を利用する介護4,5	302	334	341	374	429	387	393
地域密着型特養を利用する介護4,5	0	0	0	0	0	0	0
率 (②÷①)	57.0%	60.5%	60.7%	62.9%	66.1%	64.6%	63.6%



説明

出典：長寿いきがい課

基準：介護保険三施設と地域密着型介護老人福祉施設利用者全体に対する要介護4・5の割合、各年4月1日現在

目標指標の趣旨：介護保険制度の適正利用の目安として、介護施設等利用者に対する要介護4・5の割合の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：65%を目安に2%程度の増加を目指す

10年後の目標：65%の水準を維持する

(担当：長寿いきがい課)

3 安全と安心のまち

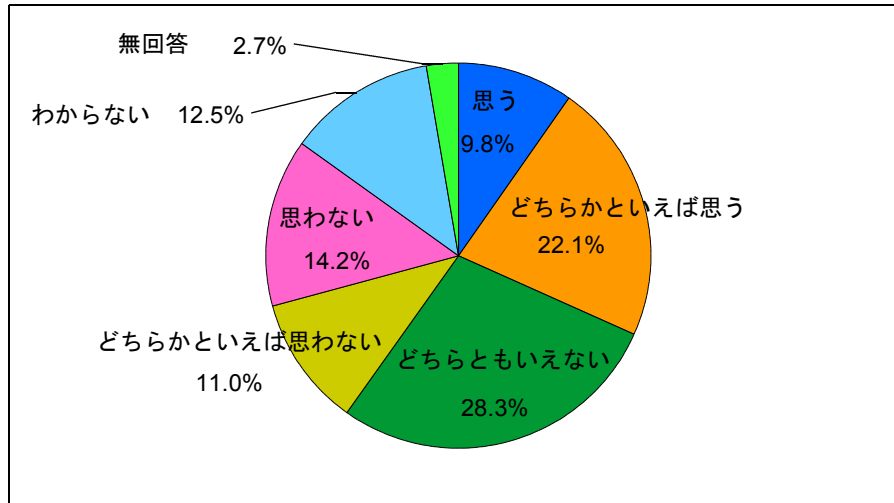
(参考資料)

(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤

80 市職員は日頃仕事をよくやっていると思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.9% (H19年度)	50.0%	60.0%	市民意識調査

市職員は日頃仕事をよくやっている



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計

目標指標の趣旨：行政の信頼度の目安として、市職員が仕事をよくやっていると思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：50%を目安に18%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに10%の増加を目指す

(担当：総務課)

参考) 過去の市民意識調査結果

「市職員の日頃の仕事ぶり」

	H13	H14	H15	H16	H17	H18
よくやっている	11.7%	10.5%	6.8%	12.5%	11.1%	8.4%
まずまずだと思う	17.0%	16.6%	16.2%	16.1%	19.5%	15.2%
小計	28.7%	27.1%	23.0%	28.6%	30.6%	23.6%
普通だと思う	41.2%	40.2%	40.6%	37.8%	39.7%	42.8%
よくやっているとは思わない	15.2%	18.3%	21.1%	18.7%	20.4%	18.9%
わからない	13.3%	13.6%	12.5%	14.5%	9.1%	13.9%
不明	1.6%	0.8%	2.8%	0.4%	0.2%	0.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

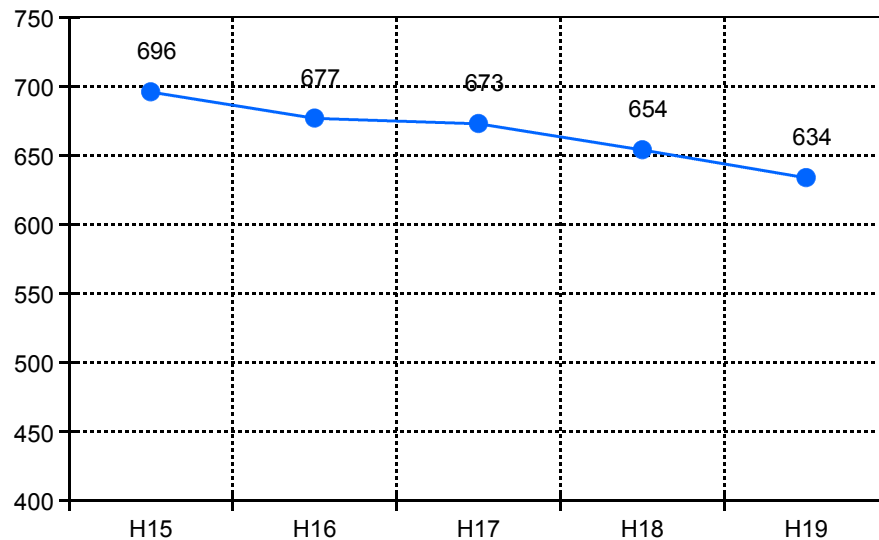
3 安全と安心のまち

(参考資料)

(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤

81 定員適正化計画に基づく職員数

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前 H15	3年前 H16	2年前 H17	1年前 H18	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	696	677	673	654	634人 (H19年度)	494人	440人以下	



説明

出典：総務課

基準：各年4月1日現在

* 目標値は定員適正化計画を基にした数値

目標指標の趣旨： 持続できる行財政運営の目安として、職員数適正化のための削減を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：退職者に対する新規採用を1/5に抑制して494人を目指す

10年後の目標：退職者に対する新規採用を1/5に抑制して440人以下を目指す

(担当：総務課)

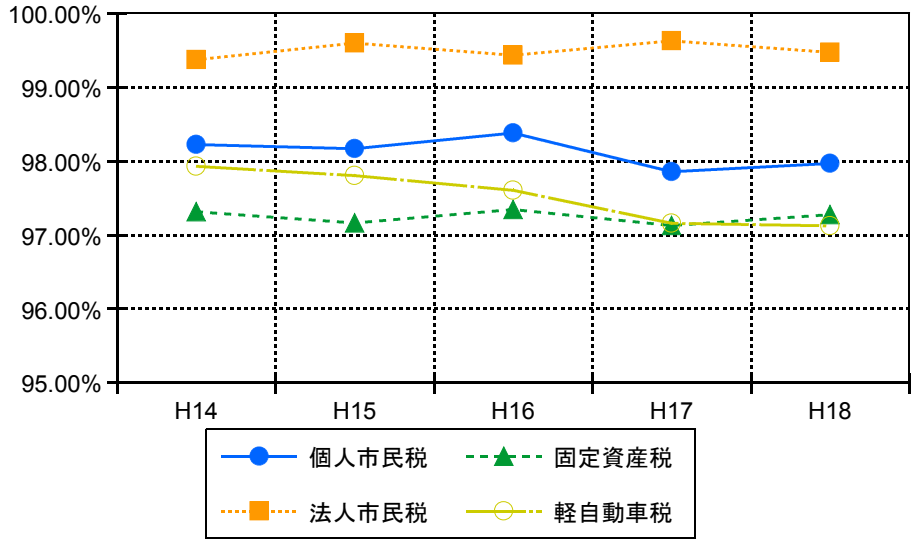
3 安全と安心のまち

(参考資料)

(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤

市税の収納率（現年度分）

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前 H14	3年前 H15	2年前 H16	1年前 H17	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
					個人市民税	98.23%	98.17%	98.38%	97.86%	97.97%	98.00%	維持	
					法人市民税	99.37%	99.60%	99.44%	99.63%	99.47%	99.60%	維持	
					固定資産税	97.31%	97.16%	97.35%	97.13%	97.28%	97.40%	維持	
					軽自動車税	97.93%	97.81%	97.61%	97.16%	97.12%	98.00%	維持	
(H18年度)													



説明

出典：税務課

基準：各税目の現年課税分の調定額に占める収入額の割合

目標指標の趣旨： 持続できる行財政運営の目安として、市税収納率の一定水準の維持を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：一定の水準を維持することを目指す

10年後の目標：一定の水準を維持することを目指す

(担当：税務課)

3 安全と安心のまち

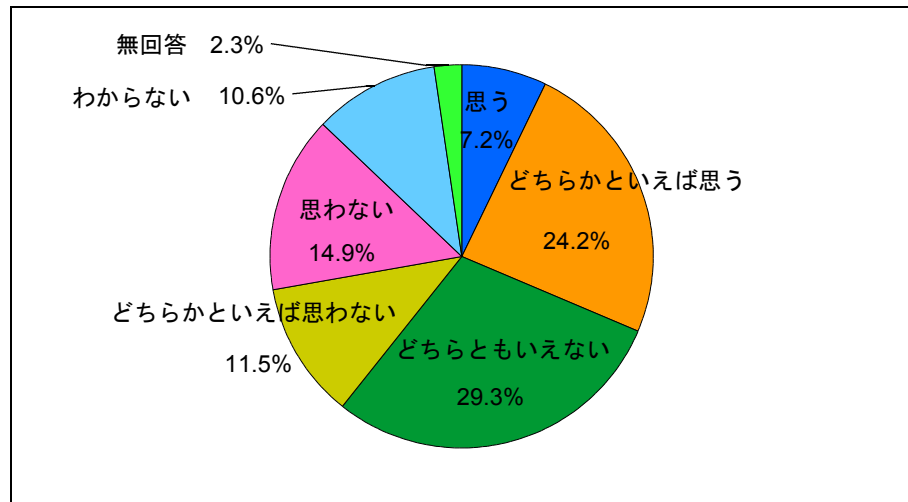
(参考資料)

(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤

86 市の財政状況などについて情報提供が行われていると思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備 考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.4% (H19年度)	50.0%	60.0%	市民意識調査

財政状況など情報提供が行われている



説明

出典：市民意識調査

調査時期：H19. 10月、H20～. 7月

集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計

目標指標の趣旨：行政情報の透明性の目安として、市の財政状況などの情報提供が行われていると思う人の増加を目指す

目標値の捉え方

5年後の目標：50%を目安に19%程度の増加を目指す

10年後の目標：さらに10%の増加を目指す

(担当：財政課)